

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年11月28日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

ご苦労様です。どうも。（メンバーに）

北野会長：

スマイルケア食、言うて。どこでも一緒やて。順番にずらっと座られ。（メンバーに）

真田 孔明：

丸いから。（メンバーに）

北野会長：

詰めて座ればええやん。（メンバーに）

メンバー：

こう行くかなと思って。

北野会長：

俺の横が何か嫌そうやね。

サッチェル：

新規メンバーが会長の側に。

メンバー：

ちょっと入れてあげたほうがいいかなと思って。

北野会長：

大丈夫。ここ丸いからさ、余り気にしないこと。寒いよ、みんな。ここで2時間おったら、凍るよ。

メンバー：

確かに、入ったときから肌寒いですね。

メンバー：

何も持って来なかった。

北野会長：

普通ならここでマフラー。

（店員が来て注文とる）

真田 孔明：

国境で止まっている人が1人いて、メンバーさん。国境が今、大渋滞でメンバー1人、遅れるって最初から聞いています。直接こっちに来るって。

北野会長：

(メンバーの質問に対して)

これはでもね。その次の段階に行きたいのはわかるけど、無理して上がっても結局、滑ってやられるから、もう少し固い方法で弾掴みを・・・両手があるんやから。両手でゆっくり弾を集めていったほうがいいんじゃないの？そんな危ない出来レースを組んでやぞ、そうやる？

真田 孔明：

メンバーさんも、やっぱりあれを見ると、他人に任せるビジネスより、自分でやっていれば全部これはお金になるので、余り他人に投資をするのはやめたほうがいいかもしれないです 笑

メンバー：

意外に人を見る目がないかもしれないです。

北野会長：

ちょっと無理に自分で持ち過ぎなんじゃないの？悪い条件を、悪い条件ばかり集めとっからしんどいなら、体が。そうやる？俺なんか見てみる。毎日、楽天家のように酒を飲んでやぞ、遊んどるんやから。考えとることは、農業と何々、老人病院と農業とかさ、いろいろな組み合わせを絵を描いとるだけやけど。はなっから自分のお金を使って起業するよう考え方はないやて。もともとは、お金をどんどん借りて、自分の夢をつくっていくと、人生は短いと。こういうスタイルやね。そうやる？金は順繰りに返すと。回すようなことしか考えていないんやから

メンバー：

それを考えたら、老人ホームと農業っていいかもですね。老人ホームに入っている人でも、従業員ですし。

北野会長：

いいこと聞かれた。老人ホームに入っている人は、農業には間に合わないの。金は払って私居て、おいしいものを食べて、まだマッサージでもしてもらって、風呂から上がったら、化粧・・・二十歳っていうぐらい化粧をするんだよ・・・ばあちゃんが。アルツハイマーでもないのに、それぐらい違ってくる。女性は、美と健康を大事にするから。そういうことを知ることが一番大事でないかな。だから、深追いはせんこと。振り込み屋とか、そういうのがないのやったら、もっと出来レース組んどるわけやから。

真田 孔明：

直接、戦えない状況なのですよ。ご自身の名義で。

北野会長：

だから、相手が戻すっていうなら、権利書にあんたの名前が、もしひっくり返して出来るものであれば、そこでパンと投げて逃げたほうが早い。何千万なのか、何億なのか知らないけど。そうしないと隅田川やぞ。それは、お前。

真田 孔明：

何か危険な香りがしますか？感覚的に？

北野会長：

そうそう。

真田 孔明：

会長の勘は外れないですからね。

北野会長：

敵はね、強いやつはあんたの一番弱いところだけを攻めてくるんやから、後はもう関係ないんやから。後はシステムをつくって来るやつは必ず一番上に暴力というシステムを持つとるから、わかった？今のシリアでも、何かドカンドカンやっとなるやろ？あれは強い者と弱い者の戦いやろ？そうでしょ。とりあえず乾杯！

（乾杯する）

真田 孔明：

取りますよ（食事）

北野会長：

いいよ。みんなで取ればいいんじゃない。箸の届く人から取らないと。

真田 孔明：

ここね、ビールをついでくれるんですよ。

メンバー：

みんなもらいます。

真田 孔明：

ライスいる人。ライスいる人。僕はいらないですけど。ライスは。

サッチェル：

ライスを食べたい人。ライス食べたい方、手を挙げてください。

北野会長：

回してどんどん回してあげて。

真田 孔明：

でもやっぱ、契約書に残らないとか、そういうのに残らない金って全部、結局溶けますよね。今までの経験上、そんな僕もあれですけど

メンバー：

結局返す方もそんな金だからっていうのは絶対に思いますからね。頭の中でね。返さなくてもいい。

真田 孔明：

人間関係だけでみたいな感じで出したやつはもう、みんな裏切りますよね。

メンバー：

本当に300万、500万でもみんなそうだし、絶対に返さない。

サッチェル：

だから覚書を作ったもんね。血の結託書を。

真田 孔明：

ちゃんとね。

北野会長：

気になるものが原因がメールとかさ、振込みとかさ、残っとれば問題はまだないんやけど、それがなかったらもう絶対に。

メンバー：

向うのポケットにお金がなかったら取りようがないからね。あっちに資産があれば結局、弱いけど。ない奴が、開き直られたらどうしようもないですからね。

北野会長：

ないやつから取れんからね。だから、いつも言っているやろ。地球の中にある水をチビチビとコップですくうと。今度ヨーロッパはね、何か印刷するらしいから、ユーロを・・・ダバっと出るよ、また。だから、みんな、あの水をすくっとればいい。暇潰しに仕事をしながら。

真田 孔明：

ヨーロッパがお金をたくさん刷ると、どういうことが起こり得ますかね？想定では。

北野会長：

当然、通貨は・・

真田 孔明：

ユーロが下がる。

北野会長：

下がるよね。

真田 孔明：

株価が上がる。

北野会長：

株価は上がる。金回りはよくなる。だから、シリアも俺から言ったらトルコも、トルコじゃないわ、イラン、イラクも例えば、空からさ、アメリカはどっちみち印刷ばっかりしとるんやから、ドバっとドルでも撒けばいいがやちゃ。そしたら、すぐにみんな、戦争を止めるよ。あれ、金がない、幸せがないからああやって戦争して遊んどるやから、金を与えればええがや。どこかわからないのに空爆ばっかりしとったってしゃあないでしょ。人には愛をじゃない。人には金をやわな。今日、孔明さんのサイトを開いたら800何十万やて。

真田 孔明：

トータルですね、870万。

北野会長：

俺から言ったら、あれに資本を大きくして、あれにゼロを一つ付ければ、8,000万ほどやる？ そんな、たくさん飲み食いしないやろ？ だから、そういうことを原点にしておけば、そんな危ない橋を渡ってさ、あやふやなことを考えてさ、夜も寝んとして絵、描いとるんやろ？ 恐らく悪い絵を 笑 そんなもん、病気になってまうやん。こんなにすっきりした顔をしとるんやけど、初めて会ったときから、俺はお前、悪人やない？ って・・出ているものが、もう臭いが違う。

メンバー：

初対面で悪人って 笑

真田 孔明：

しかも、何もしゃべっていない状態でしたもんね。

メンバー：

そうなんですか。すごいな。見た目でか・・話してみてかと・・

北野会長：

彼は、感じが悪人じゃないの。ただ出ている気がね・・・

メンバー：

そのころからそっちで地上げして。倍にしるとか、そういうことを考えていたわけでしょ？

北野会長：

そうやる？

メンバー：

だから、真っ黒ね。

北野会長：

だから、結局ね、そういうのは体から出るんやて。

真田 孔明：

地上げしてって、そのキーワードが。堅気の人が使う言葉じゃないですね。使う言葉じゃないですね。それ 笑

北野会長：

そういうのが出るわけよ。全体からね。普通の人があんたを見たら、本当に好青年やしか見えんわいね。

メンバー：

笑

北野会長：

結構そういうタイプなんやて。「地上げは！」とか言ってさ、嫌だね。おい。

真田 孔明：

地上げをすると土地が上がるとか。

北野会長：

でも、会うたびに、ちょうどもうやわら1年ほど経つせいか、少しずつだけど、ちょっとずつ変わってきとる臭いはする。でも、根本の中にああいうものをまだ抱えとると、イカの墨を腹に持っとるみたいなもんやから。墨を吐き出したら、死ぬかもしれんしの、わからんぞ。

メンバー：

まだあるじゃないですか？2～3個。

北野会長：

だから、そういうところを自ら毎日、お前、書いとる。清く、正しく、美しくって書いた、お前、やっとなことを全部、ひっくり返してやっとなやない？そうやろ？そういうのはダメ。絶対によくない。表面だけでもピシっと。聞いた今。世のため、人のため、最後は自分のためやから。だからこそ、表面は清く、正しく、美しく行かないと、最後のところに自分のためのところにチャラんいうて金が回ってこないようになるがやて。脳梗塞が起きたみたいな感じになるから。そういうのはやめて。やっぱし。スタンスは、店員をきちんと置いて、お花でもたくさん植えてさ。

メンバー：

引っかかっていないんです。

北野会長：

だから、あんたの話は常にそうやろ。私は間違っていないって、本分は言うわけやないかい。絶対に間違っていないいう会社がどうしてブラック企業の位置になっているのよ。そんなバカな話はないっていうの。

メンバー：

担当者。担当者と区長の間で決めてる。今回監査で見に来ても、ミスは見つけれない。

北野会長：

俺が思うにね、君に一番、向いとる職業はやくざ。インテリやくざで因縁をつけながら、インテリやくざは向いとると思うやて。結構あだこうだ言うて、下がらんやろ？そういうところはすごいね、しぶとい。

メンバー：

確かにインテリやくざ向きですよ。

北野会長：

会って酒を飲んだり、やっぱり人間関係を作っておかなきゃさ。そうやろ？そういうところにね、何か酒を飲めないからよくきてる。俺、電話の一節でわかったわ。何もしていないなっていうのが。ブラック企業の1番です何て言われてやぞ。そうやろ。全然、手を打っていないって。叩かれてはおるけれども、手打ちはしていないやろ？

メンバー：

していないですね。

北野会長：

そうやろ？だから、マメにもう少しさ、いつも書いていない。孔明さんがまめによいしょにプレゼントいうて。お前、全然、プレゼントもない、まめさもなけりゃ、そうやろ？

メンバー：

僕が一番苦手な分野なので。

メンバー：

スカートをはいてりゃ、まめなんでしょ。相手。女性担当者に変われば・・・

北野会長：

そういうのはダメやよ。もう少しやっぱりそこら辺を手入れていかんと。何をやったってそうさ。攻められたら何とかうまいこと言って、逃れようとするやろ？今の不動産も同じことや。だから、欠点は常にそこに見えてしまっとるわけや。そうやろ？ところが今回は、言いわけの聞かないことを無理してやんちゃしとる。だから、やんちゃが体から滲み出るよっていうのを最初から言っとるわけや。

メンバー：

厄落としをしたほうがいいのかも。絶対に嫌だと思いつつ諦めない、自分の中の諦めたくない気持ちをマックスにしておいて、でも諦める。厄落としできる。

北野会長：

孔明、お前、何か悪人ばかりを集めたの？彼はそこのノウハウを持っているから、フロッピーディスクに落としてください。最初から頼んでおいたほうがいいよ。彼はそうでないとね、自分でやろうとするから。

メンバー：

最初の開業のいろいろ書類を作ってくれる・・・江東区に出したときに、こんなじゃだめだって言われて、江東区では全部、添削してくれたので。ほかの業者には言うなよって言って。

真田 孔明：

いい担当者に会えましたね。

メンバー：

そこから先が・・・その後の自分の態度が悪いと思う。

北野会長：

違うんやて。手抜き工事なんやて。嫌だね。手抜き工事をする業者は。

サッチェル：

そこまではよかったのに。

メンバー：

だから、相当その後にその人の琴線に触れるようなことを、言っちゃいけないことを言ったとか。

北野会長：

油をさしていないんやて。自転車に油、馬にはニンジン、人には酒、決まっとるが、世の中。それをピシっとやっておかないと、必ずそこから漏れが出てくるわけよ。

真田 孔明：

ちなみに今回、初めて知ったんですけど、会長は四十何歳までか、お酒が一滴も飲めなかったみたいです。

メンバー：

え？

真田 孔明：

でも、接待はちゃんと行かれていたと。一切、飲めなくて。

北野会長：

俺、48までね、クラブの女の子にこれぐらいまでウーロン茶を入れてもらって、2滴ほどブランデーを入れてもらって、すぐに真っ赤。今もすぐアルコールは回るんだけど、なるべく酔いたくないわけやの。それで、ワッセワッセって接待やっとるわけや。それがほとんど毎日、続いたから、でもね、48ごろになったらね、何と糖尿病になったんやて・・・糖尿病。それで、仕事がお医者さん絡みなもんで、みんな、先生に聞いたんやけど、治らんって。俺は、うちのじいちゃんも俺の親も、俺も糖尿病だった。俺はプラス、380ぐらいやから、ものすごいね。あるとき、整形外科の先生に会った。その先生は、酒とゴルフ、運動が好き。その先生に会ったら、糖尿病なんて社長、簡単に治るんだよ。とサラっと言うんだよ。俺はね、本当に髪の毛が真っ白になってしもうてさ。先生、それ教えてくださいみたいな感じでさ。お前、俺の言うことさえ、聞けばすぐに治るよ。俺も本当は全然、信じていなかったが。でも、もし治らなかつたら文句を言えるやろ？あ、わかりました言うて、その先生とその時分から遊ぶようになった。そんだったら、何せ、普通の日にはテニス、火・木はゴルフ、終わったらビールは20本って決まっとるんやて。もう。これね、20本ちゃね、命がけやよ。飲めん俺にしたらね、もう命がけ。前がね、チャチャチャチャチャってこうなるのや。

メンバー：

お酒を飲めって言われたんですか？。

北野会長：

ビールを何せ俺と毎日ね、つき合って20本ずつビールを飲め、糖尿病なんていうのはあっちゅう間に治る。信用できる？そんな話し？

メンバー：

絶対に信用できないです。

北野会長：

俺は本当に20本、飲んだからね。だから、なぜか、1年ぐらいで280ぐらいね、数値が下がって、その次の年の秋ぐらいにしょっちゅう検査しとるんやよ。パタッと落ちる数値が。これは間違いやなと思ってさ、私もはしかいからほかの先生のところに行ってさ、先生、血糖値を測ってといてって頼んでさ、やったら、間違いないんやて。その先生には言わなかったのがあったとは。「先生、もし下がるとしたら、原因は何ですかね？」って聞いたら、ビールは運動をどんどんして、ビールを飲むと、ビールの中にホップが入るとるんやと。それが毛穴からザーっと出るんやと・・・ホップが。1本や2本では出ないんやと。ガバッと飲まんとあかんと。という話やったね。でも、治ったのは治った。だから、今でも米は糖分やろ？甘い物は今度逆にダメ。

メンバー：

甘いのはダメ。

北野会長：

甘いのはダメ。昔、饅頭、羊羹、何とかが一番好きやった。なのに今はダメ。不思議なもんやよ。これは。これね、奇跡的な話やけど、でもね、このお医者さん、普通の一般のお医者さんはそんなこと言えねえやろ？大体、患者さんに。だから、そういう商売づき合いもあるから、そういうので本当に治る。治るというのは本当。自分でもいまだかつて信じられないけど、だから、絶対に夜は酒はどんどん飲んでも、酒で潰れるまで飲むわけ。昨日も、そこらパッカカパッカカとワインをどんどん。どんだけでも入っていくわけやから。アルコールに制限なしみたいなもんで。酒は酒で、ご飯は食べない。これが病気を治す。だから、いろいろなところを皆さんも、体がどこかにサインを送ってくれたら、気をつけて何かを断てばいい。足は治った？

メンバー：

大体。

北野会長：

だから、その足も神経からきとる足やで、きっと。ここばかりね、悪巧みばかり考えるとね、体中にガタが来るよ、これは。金なんてね、日銀に行ってみられら。10キロほどの紙束があるんだから、あれで1億円やいうから、最後になったら日銀が印刷したやつを取ってくることを、それを考えようぜ。笑 お前、よっぽどそのほうがよくない？ワンパレット43億、入るとるんやと。あの台車に。台車1個、取れば43億や。10パレット取れば、簡単やぞ。それぐらいの発想でいかんと。そういうね、登記やらヘチマやら言うてね、やくざ者にケツをぼわれておるようなことをやったらダメ。そんなもん命のスペアカードを積んで歩かんとならん。それとね、人を騙したり、仕掛けを作って取った銭は身に着かん。絶対に身に着かんよ。もう止め

たほうがいい。今までは地上げ屋でも成功したかもしれんけども。騙すほどに人の怨念は向かってくるや。だから、絶対に俺は止めたほうがいいと思う。やっぱりテーマソングとおり、清く、正しく、美しく生きてくださいよ。世のため、人のため、最後は自分のためになるように振る舞う、わかった？そうしないと、目ん玉がスッとしているけど、奥に悪いことを考えとる目やから、ダメやよって俺は言うとするわけ。俺と会った記念にそういう悪い考え方から身を上げたほうがいい。足は抜かんでも、まず、手から抜いていかんと、お前の場合はあかんと。でも、今、持っているノウハウ、悪いノウハウは人生、必ず役に立つから。悪いノウハウもいつか自分を助ける駒にはなるんや。でも、それを若いときから遂行したら絶対によくない。だから、無理はせんことや。そう言えば、あの案件はどうなったの。案件は。あっこの社長に会ったいうところまでは聞いたけど。

メンバー：

そこで止まりですね。今ちょうどこれから寒くなる。冬でもう雪が降ると作業は止まるので、だから、多分そのままもう・・・返事がないまま、全然、鷹さんからは、すぐに次を紹介しますよって、どこにつないだらいいですかっていうのは言われてはいて。今。

北野会長：

紹介されたんやろ？そこへワインを1本ずつ、5本ずつ持って行ったら損すっから、1本ずつ持って、手土産に通う。女でも、落とすとき、お前、まめによいしょにプレゼント、通わないとあかんぞ。ほんで、第二位よりも、そこをあれが一番でかいはずやから。まして会長と会ったんやろ？あの会長、なかなか人になんか会ってくれないよ。それでも、会えたんやから、やっぱりそこを落とすような人格を身に着けないと、だから、俺が言うとした張ったりでもいいから、番頭は俺がしますからみたいなことぐらい言わなきゃさ、5人ぐらいまでは殺せますから大丈夫ですとかさ。やっぱり、何か張ったりを言わんと。ニコニコとしとるだけでは、ああいうところの業種はみんな、ギリギリで生きるしとるわけやから。やっぱ、そういうところをもう少しまめに手を入れていかんと、お前ね、女の股にばかり手を入れとってめね、うまくいかんよ、商売は。やっぱりまめにこうね。足げに通ってさ。あんたたち、だからよく似たような欠点を持つとる。

真田 孔明：

門がわかっている。財門。

北野会長：

財門あってんの？

真田 孔明：

月財門で一緒なんですよ。

北野会長：

嫌なこと言うたね。おい。

真田 孔明：

生まれながらのあれがあるので。

北野会長：

そういう性格なんや。そう言えばわかるけど。今日、初めて聞いたもんで。

真田 孔明：

会長は全部、当てている、いつも。

北野会長：

俺、大体、財門のそのところまで勉強したことないから。これは直観のみでだから。だから、本当に逆に言うとだらしない。理論的に考えて物をするっていうことは絶対にない。

真田 孔明：

天から降ってくる。未来から来る。

北野会長：

俺、毎日、孫に言っているの。勉強っていうのは、過去、過去を勉強するのね。数字でも、みんな過去に発明されたものを勉強するのが、勉強やと。俺は、未来を勉強する。未来ね。だから、違うんやよと。いう話をよくするんやけど、やっぱ、金というのは俺は未来にしかないと。思っとる。だからユー口が印刷したら、こういうことが起きるとかさ。ユー口がもし印刷したら、それだけで終わるか。日本もきっと俺は、連れ安になっていくんでないかなと。ドルから見たら。連れ安になって。だから、政府が狙っている150円ぐらいまでフラフラフラって行ったら、これもでかいよ、経済。そうやろ？そういうのを狙っとるわけや。でも、皆さんも言っとくけど、孔明さんみたいにほ、大砲を自分でこうやって起こそうなんて思わんといてほしいね。これが一つ。だから、無理に経済っていうのはね、動かせるもんじゃねえやて。だから、成り行きによって動くものだから、そのときにどう為替がなるとかさ。そういうものも見て、日経新聞も見て、経済勉強も毎日ネットから吸収してさ。みんな頭いいんだから。吸収して、そこでいろいろな三角形、四角形を作っていったほしいなと。それと、悪いことをして、それを生かそうなんて余り思わんとね。表面的には清く、正しくをベースに置いてやってほしいな。ベースはね。これを機会にやっぱり足を洗って、そういうね。ゆっくりと・・・ほれでもし悪いことをやるんなら、別の組織を作ってやる。わかった？別部隊でやる。自分の会社でも、自分の姿が見えない別部隊でやれ。でも、陰を持たんやつは、手の表と裏やから。よう覚えといて。どっちあんたらち、表かわからんやちゃ。ここがあるから、こっちがあるわけやから。これはどうしても必要なわけや。この手で物を掴もうとすれば。だから、本当にそういうことを思っとるんなら、やっぱり別部隊を作っていかなと、体積にならんから。表と裏がないと。心も表と裏が半分あるんじゃないの。心。オホホって。それぐらいやな。皆さん、株のほうは大丈夫。

メンバー：

私は今月から本格的に。プラチナに入ったのは今月からなので。まだ5万ぐらいしかついていないです。

北野会長：

5万。

メンバー：

チョビチョビ始めていますね。

北野会長：

どう。始めた？

メンバー：

7月から。先月は、税引き後で4〜50万。でも、今はちょっと大暴落で30万とか。

北野会長：

どうなの？

メンバー：

私は、以前、会長に向いていないという一言をいただいたので。勉強中です。

北野会長：

だから、やっぱり基本がちょっと硬すぎるから。もう少しシャバの空気を吸うて。シャバの空気を吸うてからでないと。でも、弾を引いて入ってきている。なら、やっぱり少しずつそこにサッチェル先生、孔明先生がおるから、相談しながら、やっぱりね、何でもわからないことは聞いたほうがいいよ。

サッチェル：

資金はどうしたの？

メンバー：

引っ張ったやつはあります。

サッチェル：

あるだけ？持ってるだけ？

北野会長：

それがほとんど本当のあんたの姿。怖くて、もう右へも左へも動けんって。

北野会長：

どう？

メンバー：

1日2、3万。

北野会長：

2、3万。サッチェルは最近、調子いいの。

メンバー：

60万ぐらいですね、月に。

北野会長：

元本にゼロを増せば。600万ぐらい行く。株やってんの？

メンバー：

始めたばかりで、大体、1日2万ぐらいです。

北野会長：

チビチビ。

北野会長：

そこそこっているの？

メンバー：

2万～5万ぐらいです。

北野会長：

本当。

メンバー：

実業に弾を回しちゃう。

北野会長：

それが一番大事やよ。

メンバー：

そこに悩みました。真面目な感じで。

サッチェル：

今日、話していて、そのほうがいいんじゃないかって。

メンバー：

人件費が高すぎる。まるっきり人件費だから。だから、技術とか何とかを売り物にしているほうがよかったけど、これで本当に、そういうのが求められない瞬間になってくると何でもいいわけですから。首がついとして手足ついとるやつだったら、誰でも一緒みたいな。そうするともう入ってくるお金がグッと下がるから。その瞬間にメチャメチャ厳しい状態になるので。そこまでそれを売りにする意味があるのかなって。だから、続くことは続くんですけど。下手すると一瞬にしてすごい赤字がくる。それが悩みどころですね。

北野会長：

永遠に続く商売でないから。やっぱし今、回っているときに株で弾返ししたりさ。練習して、金の体積が大きくなったときに考えるべき話やね。あんたの隣におる人はね、俺、何となくうちの世界ではなかなかしぶといんやねえか？こうやって見とるんやけど。

メンバー：

全然、全然・・・1日4、5万で。

北野会長：

本当はいくらほしいの。

サッチェル：

初月で200万、抜いていますから。

メンバー：

調子に乗っちゃったんですよ。夏。8月に調子に乗っちゃったので。

真田 孔明：

高値でね、その時の恐怖で。

北野会長：

一番人生の最高なのは、この言葉のがちゃ。バンと抜くやつは抜くわけよ、金。こっちはさ、あんたアフィリエイター。コンピューター関係でなかった？

メンバー：

だったんですけど辞めちゃいました。

北野会長：

辞めて株でいいんやけど。こっちは対面は硬いやろ？だから、表裏が出とるわけよ。ここにね。見てよ。これっていうのは人間の相。人間の相が出てるね。でも、案外、戦い続けると、こういうのはきつついんやて。これがお前、剣を持ってさ、一途やから。これまた剣を持つようになるときつい。最初は2、3,000円しか抜けんやつでも、すぐに2、3万に桁を変えていける。一途な者の凄さよ。これ居合っというのは、昔、俺が株が好きで、昔はさ、今みたいに上がった、下がったは余りなかった。昭和51年から俺は株をやってるんだけど、63年まで右肩上がりで。60年過ぎた時分から、平均株価が1日に2,000円ずつ上がるんだよ・・・わかる？2,000円。え、だから、任天堂のファミコンのガチャンいうて押さえるやつな。皆さん。

真田 孔明：

野村の株。

北野会長：

そうそう。あれでピッピコピッピコ。朝から晩までやっているの。そのうちに、もうプラスなら全部売ろうと。利益計算ができんで。だから、毎日プラスは全部、売りまくる。少しでも下がった株を見つけたら全部、買いまくる。これの作業だけ。持っている一覧が出るやろ。プラスになっていたら全部。計算なんか、仕入れなんてね、今は、仕入れが見れる。昔は帳面に書いてとったんやけど、むちゃくちゃに買うもんで出来ない。それでスイッチは押せる。ピンポンいうてやっと売り買い成立や。昔は売り買い3%かかった。売り買い3%。そんな時代でも、右肩上がりなら、薄くても厚くても俺はいいと。ただ、抜けて行けば雪と一緒にさ、積もっていくんやから、きっと金も残るやろと。というのが俺の概念の今の考え方。だから、今でも・・・でも株をやって、株、いつか始めて、自分が買った株が全部、下がる株を買うタイプやと思え、最初は。買うと下がる、買うと下がる。そのときに自分のスイッチを、ボタンを青いボタンを1回、押せば、金は儲かる。こうしたらね、確実にお前みたいにならんや。これはね、天性チャラっとしとっから、うまいんやて。この口先が。チャラっとうまいことひっくり返していくわけ。こういう単純な人がやると、絶対に買ったが全部下がる。何で俺が買うと下がるのかなと・・・こうふうに絶対に来るんやて。こういう人がスイッチを入れ、青いスイッチを1回押さないと・・・ここ簡単なんやて。もし、それが発生したら、ボタンを反対に押すが。買おうかなと思ったら、全部、売りをかけておくがや全部。思った株を全部、売りをかけておく。そうすると、また、よく当たるんやて、ホントそうやよ。

真田 孔明：

サッチェルもそれやってるんでしょ？

サッチェル：

僕も結構真逆で・・・

真田 孔明：

同じでしょ。生まれながらの。

北野会長：

ああ、本当？

サッチェル：

買うと下がる。売ると上がるみたいな。

北野会長：

あーそれで、未練残すな、未練残すなって一生懸命書いとったわけや。こういう人はね、結構、俺から言うと真面目なタイプね。真面目なタイプの人はずごくほっておいてもずっとそこに入っていくがやて。株式、全然知らないのに、初めて買った株は下がった。2個目も下がった。3個目もそう。10個買っているけど、全部下がっている。自信を持って言える。こういう性格の人は、その反対のボタンを押せばいいの。わかった？これ買うというボタンを押さんと、売るいうボタンにひっくり返しておく。

サッチェル：

それか、僕は最初、両建てしてましたね。上がる下がるかどっちでもいいやって言って。両建てをかけて・・・ピコピコで取っていく。

北野会長：

そうそう、私が一番得意なのは両建てのがやてね。平穏無事になってきたら、上がったたり下がったりする。両建てをかけておけば上がった分を売って、下がった分を耐えるがやて。必ず株っていうのは上がった分を売って、下がった分を買えるがやて。必ず株っていうのは上がったたり下がってから・・・今はね。

サッチェル：

上と下で取ってます。

北野会長：

両取りやて。だから絶対、俺のゲームには損はないっていうのはここなの。本当は、皆さんに悪いけど、待っているのは暴落なんや。暴落ちょっと台風が発生してくれば俺の腕なら5億は大体抜ける。悪いことをせんでも5億ぐらいの銭は派手にガシャッと切り落とせば5億ぐらい。あんなもの先物をバツと売っ払って処分でいいんやから。地図に書いてある・・・台風はね天気予報に。台風が発生した、台風が発生したいうて。みんな言うわけでしょ？あとはどこを起点にドカンと行くかだけやから。ただそれだけ・・・だから一番甘いのは暴落なの。これね、ピコピコは全部、お食事代。欲して生活はせんことや。品行方正にチビチビと生きる。

サッチェル：

未練残すな。金残せ。

北野会長：

あなたは？

メンバー：

7月6日から始めて、今ちょうど株はトータルで450万。

サッチェル：

すごいんですよ。

メンバー：

一番1日で取れたのが44万円。35万と40何万が、2日続けてあって、10月は仕事お休みをもらって。結構、居合抜きができたのですよ。10月だけは、180万。11月が87万。本当に7月6日まで、居合抜きのやり方を教えてもらうまでは、自分も人生で株をするなんて思ってもいなかった。

北野会長：

こういう人は悪い人やからね。笑

メンバー：

自分は株が大好きなんだというのを知った。

北野会長：

わかったやろ？

メンバー：

めちゃくちゃ楽しいです、今。

北野会長：

ただね、やっぱり一緒なんやて。恐らくこのお二人さんは、スッと入って行かれた人ね。それで、言っていることが理解できるわけやから。白波をスッと跳ねるところがね。これができてね、スッと上がったら、調子に乗ったときにバタッと来るがやて。それから、株っていうのは本当の楽しさ。それから出る。今、例えば300、400って抜ける人は、暴落きたらね。弾さえ持っとれば、3億、4億、一発。先の三日三晩は寝れんよ、その代わり。毎日、携帯電話でボタンを押しながら先物がいつ下がった、いつ下がるっていうてぼっかけとるやて。それで夜、アメリカがスイッチをドンというて押す前にその台風の目を見つけられたら勝ち・・・台風の目は。そのスイッチさえ、わかれば爆発が起きて、変やな、変やなと思うやろ？その1時間前にキャッチすれば勝ちなんやから、このゲームは。

メンバー：

先物が下がったら、そういう前兆？

北野会長：

先物が下がる前兆のホント1時間前を見極める。先物、下がってしまってから買ってはどうしようもないがて。だから、俺の場合は、金持ちやから、もう2日ぐらい前から先物を売っ払っていくがやから。絶対にこれは台風やと。というのが、俺のやり方。でも、俺の場合、早逃げするがね。今回もそうやったけど、ちょっと早く逃げるんやて。何でか言うと、後ろに日銀がおると思っただけで。

真田 孔明：

怖くなる。

北野会長：

怖いんやて。あそこは、金に関係ないところやから。目いっぱい来た。ドンと買い入れられたら終わりやよ・・俺が吹き飛ぶんや。だから、やっぱり最近は、あそこが一番怖い。外人も怖いけど、外人はほ、みんな会合を開いてやっぱここを売りましよういうて、みんなで来る、わーって。会合で来る。

サッチェル：

仕手にならないのですか外国人は？

北野会長：

個人がやると仕手になる。あれは証券会社同士のお話し合いやから。

サッチェル：

証券会社同士でも仕手にならないんですか。

真田 孔明：

ゲームは平等じゃないと。

サッチェル：

最近、また、村上さんが何か出て来たり・・

真田 孔明：

最近、連続で。村上さん。

サッチェル：

加藤さん。

真田 孔明：

加藤さん。早稲田大学の学生。

サッチェル：

これはこういった前兆なのですか会長？

北野会長：

これはね、俺が思うに、結局、目立つ、目立って、悪いところが出てくると、それを野放しにすると、やはり叩かないとどうしようもないんやて。

サッチェル：

見せしめみたいな。

北野会長：

見せしめでもね、名前が通っているほうが叩きやすいんや。世間の人がわかりやすい。あ、また村上かってこう思ったやろ？みんな。

サッチェル：

思いました。思いました。また村上かって。

北野会長：

そうやろ？

サッチェル：

今度、娘さんも出てきてますよんね。

北野会長：

結局ね、表立ってやんちゃするとこういう目に遭うんやて。目立ち過ぎると必ずそういうことになる。

サッチェル：

さっき冗談で話していたんですけど、次は真田孔明なんじゃないかって 笑

真田 孔明：

日本に帰るのよそうかって 笑

北野会長：

でもね、ここらは絶対に叩かれない。

真田 孔明：

もともと怪しいから？

北野会長：

駒が小さすぎっから、わかった。お前ね、1万やら3,000円、抜いたいう人を、人が見ても。そういうところがすごいとこ。だから、俺が言うのは、小っちゃくチビチビやっとっても目立たんわけよ。

真田 孔明：

早稲田大学の学生は確かに50億円ぐらい動かしたんですよ。50億ぐらいを・・・信用を入れて。

メンバー：

持っていたのですね。

真田 孔明：

すごいですよね。早稲田大学の学生。

北野会長：

あんなもの知能指数だけやから、株なんて言うのは。向き不向きもあるよ。だから、勝負をかけら、だから、お前、海の水をすくうだけやぞ。そうやる？

サッチェル：

最近やっちょっと会長のお話がわかってきました。おちょこで、すくうっていうの。

北野会長：

だから海の端におって、おちょこでこうやってチョコチョコチョコと取るがやて。

サッチェル：

海に入ってはいけない・・・

北野会長：

だから、そこがわかると、陸側におっておちょこですくうがやから、暇はかかる。間違いないやつやから。これバケツだとね、腱鞘炎起きて、毎日できないことになっとなるから、おちょこでチビチビと。

メンバー：

あれは空売りができない銘柄が一気にガッと下がるときがあるのは、あれは？

北野会長：

空売り規制が発せられるから。株券がないのに、貸し株がないのに売することはできませんよということで規制がかかるわけ。だから、先物というのは逆に買いもできるけど、売り建ての玉はたくさん建てる。ただ、保証金もたくさん。保証金っていうのは、負けていくと崖に落ちるから・・・やっぱり危険な、危険。だから、空売りほど甘いものもないけど、危険も・・・そこで勝負されてな。何億かは持っとるやろがいね。そんならお前、そこら辺でやったほうが絶対にええって。そんなもん簡単やから。

メンバー：

規制がかかるほどみんな売りたいという状況なのですか？だから、余計下がる、それを聞いた情報で。

北野会長：

そんなことしたら、一つの会社を潰すことができるやろ？例えばこれだけおってさ、1,000万株ずつ、みんなで売ったみたいなことをやればさ、会社はなくなるよ。それを規制しとる。

メンバー：

仕手株ですよな・・・

北野会長：

昔からね、常にこういうものがあつたんだけど、でも最近ね、Facebookを見ていたら、10%手仕舞いとかいって、また、サイトに書いとる人おるやろ？あれいいよね。あんな、我々の大事なお客さんやぞ 笑 ホントああいう人がいるから、我々は毎日、お食事会をしながらチビチビと酒を飲んどられる。

サッチェル：

本当に白波ですけど、抜いた日のランチはおいしいです。

北野会長：

そうやろ。あれほどおいしいランチはない。

メンバー：

1,000円以上、頼むもんね 笑

サッチェル：

全然なりますよ。

メンバー：

いつも800円ぐらいのが。1,280円、行っちゃおうかなみたいな。笑

サッチェル：

全然行っちゃいますよ。心の底から銭は余っとるからと。

メンバー：

銭はある。

サッチェル：

余ってる。

北野会長：

それどういうの。そういうね、バカなことを言うときには、自分の顔も笑っているから、だから、俺はいい顔になっているよと、深刻にさ、どうしようか、どうしようかっていう難しい目にならん。俺は金が余ったから、おい、どこか食べに行ってお、こう言えるや。ラーメン1杯でも、言ってもらった友達はお前、嬉しいやろがい？

サッチェル：

ラーメンでも嬉しいです。

北野会長：

だから、そういう物を身に着けておけばいいよって。後は、朝、鏡を見たら笑う練習。わかった。特にお前、練習せなあかんよ。お前、そんなね、尋問するような顔をして・・・人に嫌われるぞ。

メンバー：

どこまで本場で、どこまで嘘や。笑　そういう目線が・・・

北野会長：

だから、そういうのがもう出てしまっとる。だから、株をやると100%、反目を掴む。

サッチェル：

その対策としては、自分が思ったものと逆をやればいいということですね。

メンバー：

自分が宣言して。買うぞと言ったら、売る。

サッチェル：

売ればいい。

メンバー：

買うぞって言ったら、じゃ、売ろう。

北野会長：

本当はね、今まで、みんな、入り口やから、実態が見えていないと思うんやけど。だから、銘柄を決めて、じっと見つめとれば見えるもんがあるはずのやて。後は例えば国内株と国外株。車屋と内需と両方、見とるとかさ。すぐ見える。同じものを見とらんとあかんのよ。日経の新聞紙を全部、両方、見ようなんてバカげたことを思うから、勝てんだけで、銘柄さえ決めて動いときゃ、全部買えんがやる？どっちみち。新聞紙、全部。この中で全部、買えるやつがいたら、それは大変なもん。だから、そうでない限りは、そんなひどい無理をせんと、食事代だけ稼ぐんやと。普通の人が給料30万、あんたらちの歳で3、40万って、せいぜい。ほうやる？それぐらい稼げばいいから。そんな大きなお金じゃねえから。下がったら脇を締める。そのときは、友達に「奢ってね」と。女にも「お前、奢ってね」と言うときゃいいんやから。ホント。それぐらい貝のように脇を締めることを知らんと、脇が開きっぱなしやったらもう終わりよ。人間は脇が開いたらもう終わり。相撲でも、脇が開いたら、剣道でも脇が開いたら終わり。そんなことを言うて、竹刀を下ろせんやろ。だから、脇を締めていかんとあかん。彼は何しとった人なの。

真田 孔明：

一級建築士。

メンバー：

もともと建築設計していて、建築系のWEBサイトを運営しています。

北野会長：

本当？ 俺、サーファーかなと思って。

真田 孔明：

色は確かに、特に真っ黒になったね。

北野会長：

前も黒かったよね？

メンバー：

今回初めて

北野会長：

今日、初めて？本当？

サツチェル：

似ている方がいますよ。

メンバー：

似ている人がいます。

北野会長：

俺もだから、前から見たらまた黒くなったのかなと。

サッチェル：

今日、初で、彼も初です。

真田 孔明：

ちゃんと融資を引っ張って。

北野会長：

無理はせんと、まずは生き残っとること。みんな、サイトを読んでいるんやから。殺されないように気をつけてください。慎重に。お前、もうヤバイよ、ホントに。ヤバイところに来とるから。俺はほ、中身のことは、はっきりわからんけど・・・食べる？もう終わったの？あれ。食べ物、孔明さん。

（食べ物頼む）

サッチェル：

彼は、物販。

メンバー：

去年から物販で生計を立てておりまして、洋服をインターネットで販売していました。

北野会長：

洋服屋さん、もう一人おったよね？

真田 孔明：

はい、います。

サッチェル：

中国からですね？

メンバー：

中国で作って、自社ブランドにして、それをインターネットでアマゾンで販売してます。

北野会長：

弾も引っ張って？

メンバー：

質問よろしいでしょうか？

北野会長：

いいよ。

北野会長：

北野会長に教えていただいている戦略だと融資を引っ張ってきて、それを楽天証券に入れて、投資で増やしていくという戦略。その増やし方を2つ教えていただいている、1つが東京案件という投資信託で、もう一つが居合抜きで、今までの謁見の音声を聞いている限りですと、東京案件のほうがお金を増やしていくと意味ではメインで、居合抜きはサブなのかなと思っていて。

北野会長：

違います。

メンバー：

違うんですか。

北野会長：

東京案件に弾を入れると、買うと信用の枠ができるでしょ？信用の枠以内でやっぱり居合抜きの練習を1,000株ぐらいからしていかれたほうが無難だと私は思います。

メンバー：

そうすると、例えば今、投資に回せる金額が800万円あったとして、800万円を丸々、投資信託へまず突っ込んでしまって。その信用で株を、居合抜きをやるっていう。

北野会長：

1,000株ぐらいからやってください。今はもう、この間、言っていた。俺が買った・・・

サッチェル：

AC。

北野会長：

AC。あの時は、ACが一番。60%、あのときのハワイのタイミングでは60%ぐらいで回るとる。あれから大分、上がったよね？上がった・・・買った？

メンバー：

多分10月にガッと落ちたので、あそこで一気に持ち弾、800万円のうち500万円をボンとつぎ込んで。

北野会長：

買った？

メンバー：

会長にもう一つお聞きしたいことがありますして、ACが今かなり上がっていて、私が5,700円ぐらいで買ったのが、今6,300円ぐらいまで上がってきていて、はっきり言って50万円ぐらいもう配当と合わせて利益が出てきているのですが、今までの投信信託を見ていると12月にピークを迎えることが多いじゃないですか。

北野会長：

すごいね。あんた、データベースだね。

メンバー：

官門なので、勉強だけは。まだ実績が伴っていないのですけど。

メンバー：

毎回、来てもらって解説を聞きたいですね。わかりやすくいいですよ。

メンバー：

会長が今後、ACをお持ちだと思うのですが、あれを売るタイミングというのはどういう兆候が出てきたら売ろうと？

北野会長：

私の場合、12月の去年もそうだったけど、全ての投資信託も全部、売っ払う。清算を・・・何十億かは清算する。その利益が、データが出るでしょ？データが出てものを持って行って、バッチのほうにもご挨拶せんならんてね。お陰様で、今年は言うよ・・・俺も。「大した回らなかったけど、少しだけどはありますよ」と。去年みたいに50%を超えとったらさ、相手も言うんやから 笑 ばかやろう下がとったら・・・というのが俺の本音やね。去年も大体12月の終わりに清算して、ハワイのときは清算、それこそ謁見してやね、ご苦労さんでしたみたいなことを言うがやて。来年も何かいい銘柄ないですかとかさ。

サッチェル：

補足すると居合抜きと一緒にです。投資信託。上がったら売る。下がったら。

メンバー：

今50万円の利益が出ている・・・

サッチェル：

その動きが違うだけ。居合とはちょっと、もうちょっと緩やかかな、波が。

メンバー：

今50万円の利益が出ているんだったら・・・

サッチェル：

僕らは、怒られましたから。8月の暴落前に「お前ら売ってなかったのか。何で、お前ら俺の言うこと何もわかっていないって」お叱りを受けた。

北野会長：

そこがね、全て。簡単なのは、危ないなと思ったらまず逃げることなの。あんだけ、俺も香港からさ、命があったら死なんから、死なんからって歌まで歌って、教えとるのに、誰も逃げない。自殺しましたみたいなことを言うから。感覚としては、おもしろくない。

サッチェル：

会長はあの前に売却されて、下がったところで、また、買い戻されて。

北野会長：

だから、俺はこの間、ハワイで「今、ど底やから、みんなで行こうよ、青い道」みたいなことを言うとするやに、何かみんな、どこを見とるとは言えんから、でも、そういうところに強制はできんやろ？みんな資金繰りは違う、俺が皆さんの財布を預かっとするわけだ。俺はただ、俺の知っとなることを・・・一生懸命に言うてもさ。ほとんど聞こえていないや。ほとんどの人には聞こえとらん。俺はね、俺ほどそれを知っとなる人間はおらん。こんだけ一生懸命、言うとしても、孔明はブログ見た？あれ。11年に会って、12年、13年、14年、株をしたのは何と15年・・・見た。俺はあれ見て、俺、本当に信用のない男やったんなど。今日つくづく思ったわ。

サッチェル：

よくおっしゃられていましたけど、お前らとは通信できていないと、つながっとらんと。

北野会長：

つながとらん。言ってもね、ほとんど聞こえていない。理解できていない。耳には聞こえとるけど、脳の中で理解せんから、ほとんどグルッと回ってポツと出とる。

サッチェル：

確かに1月のときに、某電力株を買ってれば、今頃もう・・・1月に聞いていたのに。

北野会長：

俺はだから、もう1年、この会場で一生懸命、これがいいんじゃないですかとかさ、ここはAC行く時期ですよみたいなことを言っとるんやて。せいぜいあんたが500万、超えたのが最高額や。恐らくね、後の人は、「あっ」言うもったなと。人間っていうのは、本当にそんなや。それで合っているの。ずっと1年間、俺の言うことを全部、聞いとったら、もう金持ちや。「孔明さん、800万、僕、2,000万、超えましたよ」ってパンと言う人が普通はおってもいいんやて。俺、可能性はこれだなおもった。可能性はあった。でも一時、いい顔しとったけどな。軽々しく、スースー。

サッチェル：

びっくりしました。初月に200万、抜けましたって言って。

メンバー：

6、7、8月までは調子がよかったんです。その後の暴落で

北野会長：

暴落で。

メンバー：

その後、全然、弾がなくなっちゃって。チビチビチビチビ。

北野会長：

上がるのを待っている日々か。

メンバー：

まあでも、そのうち上がるからいいかな。

サッチェル：

僕らは次、また引っ張ればいい、弾を。

メンバー：

弾があればまたできる。

北野会長：

結局ね、俺が言っているゲームは、金持ち、弾持ちなの。これね、今、孔明さんがやっとな頭をパンと押さえてさ。腹立つから、下がれば下がるほど買っていければ、きついい。それは絶対にきついい。会社が潰れたら終わりやよ。会社が潰れて、俺みたく9,000万ほどパッと白い鳩になって、鶴が鳩になってさようならって。そういうのもあるがやて。俺でさえ、あるがやから。

真田 孔明：

43年間で一番がこれってすごいですよね？逆に。

北野会長：

たった9,000万円。俺は金持ちやから、相手には怒ったけど、こういうこともあるんやなと。あれから、だからより慎重になった。俺はだからTのときに言ったの・・秘書にね「お前ら、今度間違ったら、全部エンコをとっから、指を落とせ」と。これぐらい言うても、「会長、大丈夫です」ぐらいのことを言うから、じゃ150円で買いまくると。こういうタイプ。だから、ああいう株を買い増し。あのとき、もし、あれ飛んだら、銭の2、3億は飛んで行っている。でも、あれ150円で持っているから、今甘い。そうやる？

真田 孔明：

安心ですよ。グリーンカラーだから、ずっと。

北野会長：

ところがここから大事なところ。上がった株はそのまま保有しとくが。そこまで150円まで下がらないから。それを信用にするが。Tが信用になるが。これを担保に銭なんかいらんわけよ。あんたらちは、金がないとものごとできんと思っとるやろ。金なって本当はいらんわ、このゲームには・・わかった？左側に担保2,000になっとるものを積み立てて、投信、株券いうて、積み上げていけば、信用保証があるんやから、これやバくなったら逃げるが。信用から手引きするがやて。それで、固いのは日経225の売りをかけるとか、先物のミニを・・この間、誰か言わなかった？先物のミニもありますからと。すごいこと知っとるやないかい。ミニスカートも好きなんだろうね。だから、そこら辺を遊べばいいわけや。大きなスカート触ろうとするから難しい。だから、ミニを触るとれば、暴落でも練習はできるから。まだ、若いんやから。

真田 孔明：

後は 買いで持てるインバースみたいなものありますよね、日経の。下がると上がるっていうやつ。あれ練習になるかなと。

北野会長：

あんたは融資を引っ張って、そのまま銀行に置いて、寝かしてあるやろ？

サッチェル：

物販は軌道に乗っているんですか？

真田 孔明：

何をやっているんでしたっけ？

メンバー：

太陽光発電。

サッチェル：

新しい会社は、どうしちゃったんですか？

メンバー：

新しい会社は、静かに・・・

北野会長：

静かに 笑

サッチェル：

普通、何をするか考えられるのは、こっちがあるから考えられる。何もしないで考えてたら・・・

真田 孔明：

多分、あれですよ。列車を返して、また新しい列車が来るだろうっていう。

サッチェル：

決算書方式ですね。

メンバー：

日銭は入ってきていますね。

真田 孔明：

返して、返して、うまくやっていけば。でもやり出したら極めていきますよ。月官門で・・・

サッチェル：

僕らはコピーできる。

北野会長：

人の技をコピー、いいね。

真田 孔明：

コピーして極めていくんですよ。

サッチェル：

それにちょっとだけエッセンスを加えて、オリジナルを加えられるのが、僕ら。ちょっとだけ。

真田 孔明：

余りオリジナル加えない方がいいよ。極めていけるだけ、オリジナルっていうよりそこを極めていく、追及していく、深堀。深堀のほうがいいですよ。オリジナルより。月官門だから。

北野会長：

だから、孔明さんの880万、グロスでかければ8,800万、その高、8億8,000万、儲けてみたって使うところがないんやから。あんなもん、持っとったらね、心配するだけやよ。金っていうのは。心配の重荷になるのが金やから。だから、たくさんほしかったら、やっぱり日銀の強盗。それが一番。笑 車ごと、ドンとやる。ノルかソルかで。これぐらい考えて生きないと、ルパン3世知っとるやろがよ。あれぐらいで行かなきゃ、おもしろくない、人生が、そうやろ？あとは、チビチビ生きとるんなら、やっぱ食事代、80万なり800万でええって、抜いて遊んどること。人生は楽しい。金なんて持ったって所詮は紙やから。使うところがあれば別やよ。ただ、持っとるだけなら新聞紙を持っとるも、銭を持っとるも同じ・・・本当。貯金通帳にね、何億、欲しいないうて、何なら印刷してやっから。何ぼでも作ったる・・・使わないならね。あんなもの使わないんだから。印刷物でええんやから。だから、自己満足ならね。決算書も同じ。太陽光の売上をその会社にあげとるんやろ？、経費を自分のところの新聞、電気、水道、ガスと経費を落とすやん、同じさ。だから、実態を見せるために人間は企業努力をするわけやないかい。奥さんに会ったら、毎日「あ、綺麗やね。お前、いつ見ても綺麗や」と。これだけ練習しておけば、結構いい顔になってくる。金なんて儲けるのはそれからでいい、本当に。どうして、俺のビールがこれしかないの？結局、会社をつくったの。

メンバー：

僕は作りました。

北野会長：

金、引いた？

メンバー：

多分、もう1社ぐらい・・・

北野会長：

つくって？

メンバー：

2月ぐらいに。もう半年後ぐらいに手の裏の方を・・・

北野会長：

手の裏のほうを。なかなか鋭いことを考えとるやん。でも、みんな門が違うし、顔も違うから、みんな人のいいところはもらって、自分のものに吸収していったほうがいいよ。月修門いう門があるの？知らねえ俺、全然、この間、初めて孔明さんに「俺、門、何になるの？」言うて。

門、門、書いてあるけど、俺の門はいったい何になるのよって聞いた程やから。俺も占いでもやろうかな。笑

真田 孔明：

会長は何も見する必要がなくて勘が全部あたる。

(店員に注文する)

北野会長：

でも、やっぱり皆さん、若いから、共に線を引き合っていていいところは吸収して、悪いところは削って。てやっていけば、ここに、いいところがあるんやから、お互いに商売も全く知らなかった土木の話とかさ、洋服の話とかさ、聞いて「あ、そうか、地区が違うんやから。俺も、そういうことをいっぱい練習ラウンドでやってみようかな」とかさ。そういうことをやっていったほうがいい。あとは、株のほうも、みんな、てんでんにやっているんだけど、例えばシャープは僕がこれだけで買って、今下がってるからいいんじゃないかという嘆きをホラを吹いっててもあかんが。あれはね、一番いいのは嘆き。みんなさ、買って下がったものはみんなで共有できるから、結構、金儲けやすい。これが一番、金儲け。昔から言うやない。前者覆るは後者の戒めなりと。前を走っとったやつがドンというて崖に落ちたと。真っすぐ行ったら崖があるのはわかったから、自分は曲がっていったが。この例えのごとく、そういうことを大事にして、募っていけば、傘のようになってさ、傘やから、雨が降ったらザっとみんなのところにお金が共に入ってくる。だから、私の場合は会社をそこへたくさんつくるのが好きやっていうのは、この原理を用いる。傘の原理・・・共に。みんな取ろうよ（食事）

真田 孔明：

アサリと焼きそばだけ頼んじゃった。満員になってくると、店員パニックになってくるけど。

メンバー：

おいしい。

北野会長：

美味しいいよ

真田 孔明：

今日、ずっと話し合いになったのは、Tの今後はどうなのだろう。いろいろな意見が飛び交って・・・T人気なんで。今日は768円ぐらいですね、今ね。チャートを見ていくと、もっと暴落しそうだよ。

北野会長：

Tが？俺が思うのは、俺の勘やけど、Tは恐らく今、誰か空売りをかけとるやつがおると思うやて。なぜかと言うたら、Tの会社の利益ちゃ、今、5,000億ほどあるわけやろ？

真田 孔明：

過去最高みたいな感じの利益で

北野会長：

でも、仕手筋が恐らくどこから貸す株をもらって、空売りをかけてとっから、値動きが何かドタンと上がったり、ドタンと下がったりする。

真田 孔明：

異常な動きをしているんですね。

北野会長：

異常な動きというのは、そういうところでないかなと。でも、次女から俺のところに電話がかかってきて「何でTがこんなに下がるの」みたいなこと。

真田 孔明：

私が買うと何で下がるの？

北野会長：

そう、私が買うと何で下がる。でも、金儲けというのは、すぐしたいわけや、みんなね。金っていうのは焦らなくなったら金っていうのは入ってくる。焦ったらもう入ってこんね。なぜか入ってこない。金っていう原理は、でも本当はね、自分が金を使いたくないなと思うと、金が今度、背中からね、背中につかまっていて、見えない・・・金が。俺がこう振り向いても見えない。自分の前には、金っていうのはいないの。金はいつも俺の後ろにおるような気がする・・・俺は。俺はそんなに金を使いたいなと思ったことはない。ところが、何か事業をやろうかなと思ったときに、なぜか金が後ろから俺をオーバーして来る。補助金やとか、そういうものがオーバーしてくる。だから、そういうのを俺はわかっているから、無理、無駄、ムラはするな、するなというのはそういうことを言っている。きちんと生きとれば、運は来るのでないかなと俺はそう思っとる。

真田 孔明：

電力自由化というやつにも結構、意見が出ていたりするのですけど。Tは電力自由化になるとどうなるのだと。来年から電力自由化、電力自由化って結構、記事を見るのですが。

北野会長：

そんなものね、電力のせいぜい5%以内の話し・・・3%にも俺はならんと思う。誰が一番、電力の力を持っているの。

真田 孔明：

T。

北野会長：

関西。東電。北陸。九州。四国。北海道電力、これぐらiyor。電力会社があるの。ジェイ・パワー。ジェイ・パワーはそんなもの何パーセント。だから、でかい組織のやつが、きついに決まっとるって。世の中は。福島原発ぐらいじゃないやて。だから、さすが大手だから、保障はせんがやて。ジクジクと引っ張って、大きいやつのほうがズルいんや。大きいやつの社長はあんたら、よう覚えておかれ。大きいやつほどズルい。なぜか言うたら、あんたらちが経営者や。あそこにおる経営者は、雇われ社長なの。東芝もシャープもパナソニックも全部、人の首に二束三文でバーっ切る経営者なの。あれは創業者じゃねえから。あれは東大を出た、京大を出た、僕、京都でした言うて社長になっとる。株券、あんたらちよりも、持たんかもしれない・・・会社の株を。そういう人が社長になっとるから、へちゃまにできるわけよ。人の首を切るのは。そこが皆さんはわかっとらん。だから、ビル・ゲイツが自分のところの会社の株を空売りするのと同じで、世の中、はしかいやつは常にそういうことをしていくわけよ。俺はね、Tを8,800円で買ったことある男やから。そういうことがよくわかる。だから、150円のとて、金があるだけそこにね、取っとけいうて取っていくがや。そんなもん、BOAも、今、15ドルだか、16ドルしとるはず。昔は2.5ドルやった・・・何年か前は。だから言いたいのは下がる、安いときに買って保有する。これが一番楽。それを信用にして、次のステップに行く。自分のゲームの、自分のゲームで、これをもとに次に伸びていくがよ。あんたみたいな1回つつ勝負しとったら、どこかで負けたら終わりや・・・ウンボで埋められるぞ。

メンバー：

僕が埋めますよ。

北野会長：

そういうことっていうのはすごい大事なの。人生の中ではね。そういうことを忘れなくやれば、芽は出てくると。でも、俺の株のやり方で絶対に損っていうのはないというのは、そこなんやて。損したら我慢するんやて、俺のスタイルは。あんたも我慢しとれば、絶対に損することはない。例えば投信を担保に1,000株ずつ、2、30万ずつどんどん買っていっても、そんなに大負けせんのや。安い株っていうのは、そんなに動きようがねえから。全部なくなってもSHなら130円ほど、NEなら400円ほど、ついこの間までみんな300円ほどの株だった。そういうことを思えばそんなに負けるっていう要因は少ない。儲けるときには、やはり大きなロットを金が必要なの。そんなに慌てんとさ、皆さんにはまだ30年ぐらい人生があるがやから、ゆっくりと手を広げて取っていけばいいんでない？今、細いけど大丈夫。そのうち太ってくっから。金が貯まるとね、人間は非自然的に太るから大丈夫。

メンバー：

TSは、今買っておいたほうがいいんですかね。

北野会長：

もし、TSが潰れんということになれば、俺は、TS、SH、PA、全部いいと思うよ。日本の電気なんてね、昔は、バブルの前は、日本の電気は何を買ってとってもね、ただ上がるだけやった。白物家電を作ったやろ？新しい産業で成功したやろ？結構よかった。今は何をやってもね、経営者が要はいい大学出やろ？格好つけやろ。それでほ、社長になったらもう嬉しいんや。あとは何もしないの、わかる？そんな会社、うまくいくわけがない。それから見たらTOの創業者の代の孫かひ孫か知らんよ。聞いてくると気合が違うやん、気合が。だから強いわけよ。人間っていうのはみんな、そんなもんや。

メンバー：

会長、聞いてもいいですか？知り合いにJAの預金を全部を投信に回した農業信用金庫ってあるんですけど、何かそこからの情報で、農業従事者向けにリース代の1,000万のうちの400万円を貸し付けとかではなく、普通にお金を配っているっていう話を今、ただ、本当に、収入になって、それでいろいろ問題になっていると・・・そういうことはあり得るのかなと。

北野会長：

あり得る。

メンバー：

すごいですね。ただ、あげてみたいいな・・・

北野会長：

いや、違うやて、国はね、ただ農業政策でただ金を配らないと自民党の票は農業者が一番多いの。何でって言ったら米を高く買ってきて、今、どんどん値段・・・僕がね、農業を家がやっていたときは1俵、米60キロが3万3,000円ぐらいまで上がった。

真田 孔明：

1人で食えるやつを（料理について）

北野会長：

農協で買い取っても3万3,000円。今、それがね1万2,000のがやから。ざっと3分の1ほどや。それでも農家は潰れていっておらん。だから、甘いお金を農家に渡さないとうまくいかんのが。何が怖いかって言うたら、政治家は票が入らなくなったら終わり。あれ、農家を裏切るとみんな、失礼な話やけど、民主党には行かんよ。全部、票は俺、共産党に流れると思う。元々ね、日本ではね、そういう土壌があるんやから。考え方の中には。だから、みんなで渡れば怖くないっていう標語もあったでしょ？日本人の気質の中にはそういうものがあるよ。もう、顔は笑うとるけど、足はバンいうて出すっていうところはあるがやから。自分の命をかけて特攻隊に行く人がこれだけ多い国やから。イスラムもやるならあれぐらいやらにゃあかんって、日本人みたいに、特攻隊でさ。あれは全部、巻きつけてダンダンやったら、もう世界全体がビビってしまうよ。あれはポッチラポッチラやるとるから大したことないの。一方は空爆やろ？一方は腹、

腹に巻いてさ。それじゃやっぱりレースにならんわな。だから、そこら辺をもう少し、みんなも経済やから、これも経済。もう今は、何かシリアのサイトを見ると、昔はトカレフ、ロシア系やったんやと・・・拳銃が。ところが今は、全部、中国製やと、拳銃が。一番の商売の原本は何か知っとる？拳銃、大砲。これは昔から決まっとるんやて。これが一番儲かる。やられたやつは必ず、拳銃が欲しいやろ？武器が欲しいわけや。だから、武器が高く売れるわけよ。どんどん。これっていうのは昔から一番いい商売の一つ。我々は平和ボケしとるから、そういうことを知らないけど、だから、戦争が一番の戦後の日本の収益を上げた原因は朝鮮戦争や。昔は、よの昔から決まっとるが。

(店員に注文する)

北野会長：

着けば電話ぐらい入るやろ。(遅れているメンバー) 女のところに行っとったりして・・・そんなことないか。結構、孔明の友だちは危ないからね。本当に何されっかわからないから。

真田 孔明：

みんな、女には脇が甘い人ばかりですよ 笑

北野会長：

(メンバー到着) 遅かったら罰金っていうのは付けてもいいかな。とりあえず注いであげてよ。罰金で、駆けつけ3杯で・・・

メンバー：

イミグレが半端なく混んでいて。

真田 孔明：

5時ぐらいにメールをくれて。今ですか。そんなに混んでいたんですか。今もう8時15分。そんなの僕ないですよ、今まで。

北野会長：

本当、3時間？

メンバー：

今、休みらしく多言って言っていました。

メンバー：

30分ぐらい別室だった？ 笑

北野会長：

俺がこの間、来たら、飛行機が、12時過ぎに着く飛行機が、成田で遅れて、田舎で遅れて、4時間ぐらい遅れて着いたのは4時ぐらいたったわね。ゲートを渡るのに、ほとんどブレーキを踏んで見せて、ハンコを押すまでパンパンの時間だけやったよ、両方。朝の4時か、帰りもね、夜に出ると向う側は特に向うのゲートは、ツーツーや。だから、前の晩に出て、ホテルを取っておいて、シンガポールで1泊して、それで飛行機に乗って行く・・帰りは。そのほうが体が楽やし。朝がラッシュに紛れて行くのってひどいやろ？

メンバー：

時間帯によってものすごい混み方しますよね。

北野会長：

俺もせっかちやろ？1時間ぐらい前にね、ゲートでかかるとるから、1時間ちょっとね。もうしんどうてさ。腹は立つは、しんどいわやろ。融通効かんやろ？ここね。でもこのゲートは金になるよね？これ？取ればね。そう思わない？関所やから、関所はやっぱりね、これやろ。お客さん、お願いします。

メンバー：

早く通りたいから。

真田 孔明：

スペシャルゲートとかね。お金を払って。

メンバー：

お金出してもすつと行きたい。

北野会長：

そうそう、どこかにはそういう関所があるんでないかなと思って、金さえ出したらうまくいく。

真田 孔明：

もう1個あるんですよ。ムサジャヤのほうに。

北野会長：

向う側に行ったら本当に5分もない、スツと通過できたから。

真田 孔明：

あっちのほうが空いているんですよ。

北野会長：

空いとるね。あっこでタバコを持っていて、おばちゃんがさ、バックを広げてください言うて。タバコが入っていた、吸わないタバコを。そしたらさ、うじゃうじゃうじゃうじゃ言うて降りて来てさ、罰金がなんとかって、全部、英語かマレー語か知らんよ。最後にカードでサインしたはね。そしたらさ、日本のパンフレットを持って来て、言うたこと全部書いてあるんやて。おばはんのあの嫌がらせ。俺、本当に・・・銭で殺されるなら、すぐに殺してやりたかったわ。

真田 孔明：

罰金、取られました？

北野会長：

罰金。小さい罰金やよ。それでさ、訳のわからん言葉でさ、どうたらこうたらね、俺はわからんっていうのね。わからんいうほど一生懸命おばはんが何か一生懸命言うとする。最後に日本のパンフレットを渡してさ、先にせよバカヤロウ！本当に。

メンバー：

会長も白タクで来られているのですか？

北野会長：

俺は、モレックパインの白タクかなんかで来とる。俺はね、夜は大丈夫なん。夜は酒を飲んで、ずっと遊んどるタイプやから夜は大丈夫。朝、早起きが苦手なんやて。今日も、9時25分ぐらいやったもんね。

真田 孔明：

それでも早いすよね。

北野会長：

大体それぐらい。日本にいて、相場が始まる時分に本当は起きたいの。俺のは夜にインプットするから、寝る前に。あんたみたいにほ、5円下がった、上がったって全然関係ない。明日は、ガッと買いをタタタタと入れていくがやて。それで、9時半ぐらいに起きて、パッと寝ぼけた目でiPadの画面を見るやる？全然、覚えとらんやて。売りをその中から見て、画面を一つずつ見て、売りって難しいんやて。買って、次の日、真っ青やったら、孫に全部、手仕舞いしといてくれと。どうしたらいいか言うて、俺のパスワードはこれやから、プラスになったら全部売れと。毎日ほ、パズドラで練習しとるだけあって、敵は早いんやて手が。笑 俺がやるよりも早い時間に手仕舞いできる。孫に言うがやて、お前は今日、ドラゴンボールで八百何十個、勝ったんやから。点数は八百何十点、これは孫の点数やから。俺の点数は八百三十何万儲かった人生。これがおもしろいんでねえか。最近ね、孫にそればかりやらせている。孫は単にパズドラの延長線やと思っとるから。

真田 孔明：

数字のゲーム 笑

北野会長：

数字のゲームやと思っとる。プラスが全部売っといてくれ。暗証番号を知っとるから、もう早いよ。タタタタタ、本当に早いよ、俺の5倍は早いわ。

(騒いでいる集団がいる)

真田 孔明：

何かの宗教ですかね。これね。さっき歌っていたでしょ、みんなで・・

北野会長：

すごいね、これ。

真田 孔明：

連絡ないな。(遅れているメンバー) 今日ね、直接こっちに来るってね、はまっているのかな。メッセージもないですね。

北野会長：

皆さんも、これから孔明さんも、今度、香港市場に入ったから、日本ができるようになったら香港、香港で稼いだら、元にチェンジして、中国で定期預金。経済は皆さん、思っとるやろ？中国は今、よくないんでないかなと思っとるやろ？株で言うたら高ですか？下ですか？中国はよくないやろ。ということは逆や。下がったということや。だから、下がったところで買いを入れなきゃ、絶対に勝てんちゃう、わかった？下や下やいうほど、買いを入れていくが。これが経済さ。みんな、中国って言ったら「え～」と思うやろ？違うんやて。だから、物を反対に考えることができないと、正常なところに行かんちゃうの、わかる？安いときに買うがやて。高くなったら売る、わかった？5,000円で仕入れてて、今、6,000円ぐらいう。何カ月か配当をもらったやろ？もう少し見て、今から見るとACはもう少し高くなる、本当は。そこを見えるか見えんか。ほんで、玉もいろいろな玉を持っとれば、下がった玉、上がっていく玉っていうのは見える。下がったものを買うんやぞ。もしもし。どんだけね、皆さんに教えてもできんがね。上がったら掴まりたいんやろ？下がったら怖いんやろ？一緒やん。ここから抜け出せん。お前、きちんとそこら辺、行儀よくな、そうやろ？そのイロハが一番しっかりしとるのがお前やから。俺から見ると。今は、元々堅い職業やから、やっぱりなかなか入れんってね・・心が。居合切り、とんでもない話やな？性格的に職業的に、そういうところを選んだ人はそういう性格を持っとるわけやから。だから、あんたもこれからは、香港市場へ乗り込んで、中国に行って仕事をする必要はないんやから。香港の金を香港を高に置いて、手前引きっていうんだけど、手前に流れるシステムを取ればいい。孔明さんも、チラチラっと抜いとるやろ？これと同じさ。これができる、ここまではバカでもチョンでもできるわけ。これがアメリカ市場へ行くと、桁が違うから。一株が違う。そこは値段が違う。2,400万。バークシャ・ハサウェイ

おったやろ。株の神様みたいなことを言われとる。バークシャ・ハサウェイ、ウォーレン・バフェットか。あこの株が2,400万ぐらい、一株やよ。もっと高いか、今ね。そんなもんや。だから、経済というのはわからんのや。だから、とりあえず香港で買ってから、うちの婿はんがもう株したくない、したくない。株だけはもう辞めたい、したくない。いくら俺が言っても嫌や。もう三日三晩寝れん。三日三晩、寝れんと言うがやから。本人は、やはり三日三晩ね、「空売りせい」って言ったときに、もう、自分の名義の株やから、寝れんらしい。 笑

真田 孔明：

娘さんはどうなのですか。その奥様に当たる。

北野会長：

うちの娘は俺と一緒にやから、何か1億7,000万ぐらい信用買いで買えるからいうて、最近1,000株ずつ遊んどる。やはり1万8,000円やら、1万7,000円やら、いくらか抜いたら喜んどるわ。明日の買い物がしやすいみたいなのを言って喜んどるけど、弾がほら、3億ほど弾は持ってるから、だから楽、頭センチンピーやわい、親からもらった金で遊んどるだけやから楽。だから、でかい博打を打たんでもいい、1,000株ずつ遊んどれやいい。それでも食費ぐらいになるんやから。

真田 孔明：

急に・・・なんだこれ？（店にハッピーバースデイの曲が流れる）

北野会長：

今、このハッピーバースデイ。（別の客が大声をあげている）あっちがキリスト教で、こっちがイスラムでなかるうの？ 笑

メンバー：

あ、文句言いに行った 笑

北野会長：

この間、船で旅をしていたら、島がマイル島かどっか寄ったらさ、何か昔はキリスト教の信者が持とって、次はイスラムが持とって、また、キリスト教が、ずっと永遠に繰り返されてとるんやと。イスラムとキリストはほ、元々は兄弟うちやから。兄弟うちが戦争しているだけなんやて。だから、取ったり取られたりで、罰ゲームみたいなもんやて。人間っていうのは永遠にそんなのを繰り返しやから、そう思って生きれば。風邪を引いたんでないやか？（メンバー）お前、一番、長袖を着ているのに。 笑 あんたも余力がないから、今、400万、儲かったんなら、玉さえでかくすれば、すれば4,000万簡単やろ？

メンバー：

株をつけているノートを会長に持って行って見せないといけないうって言った。

北野会長：

じゃ俺、見ます。

メンバー：

見せなくていいんですか。

北野会長：

この前、言ったやろ。

メンバー：

きちんとしている。

北野会長：

これ誰の字。

メンバー：

私の字です。

北野会長：

あなたの字。一緒のものを買とるやね、ほら、ND。

メンバー：

教えてもらった。

真田 孔明：

すごい！きちんとしてる。

北野会長：

2円で買って4円で売ったとか書いとる？

メンバー：

これは自分がこの数字を見ておかないと、高値、安値、前日の始まりの値を書いておかないとわからないの。自分の覚書で。

メンバー：

大和証券のセールスマンかと思った。 笑

北野会長：

すごい。俺ね、昨日、孔明さんにこれと同じことを聞かれたの。きちんと管理しているのかって聞かれたけど、俺、本当に恥ずかしい話だけど、全然したことないの。だから、勘だけ。ヤマ勘だけやから、本当すごい！

メンバー：

本当にこれを書かないとわからなかったの。

北野会長：

でもすごいわ。これを書くいう発想がすごいんでない？これ見て。お前ら、絶対に勉強しとかれ。1回ずつ。

メンバー：

ちょっと拝見します。

メンバー：

これを書いてどうすればいいんですか。今、安いとか、高いとか。

北野会長：

俺の言うた銘柄、全部、入ったな。

メンバー：

それを買っていて。こうやって自分で売り買いしたのを全部。

北野会長：

書いてあるの？

真田 孔明：

すごいですね。

メンバー：

すごいな。

北野会長：

勝ちゲームをみんな、報告せい言うてる。これはすごいわ。

メンバー：

こんなにしないと、自分でわからなくなるから。

メンバー：

これ3,000万、大儲けって書いてありますけど（冗談）。笑

北野会長：

でも基本的には、一番合っとる。ところが今は、パソコンが差し引きしてくれるから、俺も今日も経理士に、今年の引き算がどれぐらいになっとるのか、聞こうかな思って。もう12月に入るもんで。だから、いつも誕生日には、スイッチを押して、経理士に聞いて、それで手仕舞いのやり方を考えるだけ。なるべく税金も払いたくないもんで、損は損で損切りをかけて、プラスの税金は払っとるけど、そこで調整しながらこれをやってる。俺はしつこいタイプやから、負けてでも腹立ってずっと持っとるタイプ、ホント。これはね、自分でも認めとる自分のバカなとこ。勝つまで行くというタイプなんやね。勝つまでいくタイプ。なぜか、Jのときも、相手が駄目みたいですよ、まだ25、6円のときに言われたんやけど、恨んだ、腹立って・・腹立って。プライドが許さんかった。あんときに手仕舞いをかけておけば2,600万になったがにゃあよ。ゼロまで我慢したんやから。人間には我ががあるがかい。女には女の意地がある。でも、男にも我はあるんや。今、考えてみれば、ただの無駄遣いやったちな。だから、痛い目に遭うほど、金っていうのは儲かるわけよ。俺はいつもそう思っとる。これから、金は投資信託に貯めて、いいものを集めていく。玉は右側に置く。左側の投資信託が貯まれば信用がどんどん増えていくがやから。このぐらいにもの考えると、あのね、だから、信用で物を買えば、借りたお金の3%利息かかる。1日借りれば365分の1、利息がかかるわけよ。そうすれば、早く切れば切るほど利息がかからんでしょ？これを言いたいわけよ。本当はな。だから、今日、買って、例えば皆さん1,000株ずつぐらいから行くがや。わしら、10,000株ずついっとるんやから早いわけよ。1円か2円でええんやて。

（また、ハッピーバースデ이의曲がかかる）

メンバー：

何人いるんだ、誕生日。笑

北野会長：

これは、最後になったら全員が誕生日やったって？ 笑

真田 孔明：

これ、食べないんですか、これ。

北野会長：

あんた、運転もしてもらわんならんから。

遠慮せんで食べなよ。

メンバー：

たくさん食べたです。

メンバー：

会長、投資信託を、ACが12月ぐらいに売ったして、投資信託がまたゼロになって、そこからまた投資信託を買おうと思うのですが、その場合は例えば、買える金額が800万円あるとしたら、800万円、そこが低いと思ったら、800万円を一気にバンと買っちゃっていいものなのか、それとも結構、低いとは思っても、やはり200万円ずつ4回に分けて買ったほうがいいのか、どっちの買い方のほうが？

北野会長：

この間、他のメンバーがそれと一緒に質問をちょうどここで、ジョホールバルでされたけど、私は、彼は3,000万円引いて、私は1,000万ずつ、あんたの性格なら買っとかれって言うたら、1,000万円ずつ買った。あなたの800万円やったら、俺やったら、そのとき同じ質問やったもんで、俺やったら、例えばACから乗り換えるならね。俺だったら、NHIに乗り換える。NHIに。あれも利回りがいいから。250円やる？たった50円のことでもかなりピリピリッとする。それを担保に、暇潰しに居合でもやっつくというのが、やはり固いんでないかなと。

メンバー：

NHIに800万円をつぎ込むとして、買い方として、1月に800万円、全てを買うのか、1月に200万円、2月に200万円、3月に200万円、4月に200万円。

北野会長：

堅いね。この人は 笑

メンバー：

本当に細かいところが気になって。

北野会長：

すごいいい。細かいところはいいい。

真田 孔明：

この質問が欲しかった 笑 こういう。

北野会長：

昨日ね、これと同じ質問が孔明さんから出たの。俺もね、恥ずかしい話ね、全然、全くそういう計算はしたことないの。書いとったあの帳面みたいなことは、基本的に昔、初めて株をやったときにあれやとったんよ・・俺も。日掛け月掛けで。いくらで仕入れて、いくらで売って、いくらついて、毎日書いとったの。ところがね、よく考えたら、あれはただの伝票ちゃ。ただの伝票なんやて。あれは。そのうちに「止めた〜」みたいになって、今は、例えば1月1日から12月31日にパソコン押すと、印刷機がガーガーとプラスの分だけちゃんと出してくれるやて。

俺はマイナスは手仕舞いせんから、いじっぱりやから、手仕舞いせんがやて。プラスしか絶対に出てこんはず。あとは印刷機が印刷してくれて、俺は経理士に俺は全部、一般口座やから、一般口座のほうが税金分2割取られないの。だから、玉が余計、生きるちゅうもんかさ。それを何とか誤魔化せんかなと思って、毎日、考えとるんやけど、笑 まだ、そこまで頭がよくないもんで、発見できていない。これっていうのは、この2割もでかいんやよ。玉の2割っていうのはでかいの。俺の場合は、儲かったらもう売っていくタイプやから、だから、満額は次の運転資金に生かせる、100万でいいのかすか、80万で動かすかだけの問題だけど、でもね、年末になってね、プラスが多いと、今度、税金を払わならんという恐怖に今度はビビるわけ。それで、ここのMH2ビザも取ったり、なぜか、田舎が恋しくてね、というのが俺の弱みでないかなと。

メンバー：

一般にした場合は、最後の確定申告のときに儲けの分を払えばいいのですか？逆に儲けがなくなったら、その分しか払わないでいいと。

北野会長：

全然ゼロ円。だから、確定申告のときに、12月20日済んだら、過ぎたら、赤のものを持ったら手仕舞いしてしまう。税金を納めんでもいいやろ。そういうことをやはり考えて、だから、俺は12月の20日になったら、手仕舞いは目いっぱいしていくわけ。これは当たり前でしょ？だから、今度は来るのは税金やから。今度、納めたくないから、もう赤のまま手仕舞いして、税金を払うなら、手仕舞いをして、それを運用資金に充てたほうがいいやろ。というのは俺がいつも考えている。皆さん、まだ1年生か2年生やから、そこまでは知らんけども、これが普通ですよ。だから、またまた、いろいろな株でもさ、専門分野みたいなもんやから、結構、奥が深いんやて、本当は。でも、今は、ここ10カ月ぐらいで言ったことっていうのは、表面だけやから。表層の話やから。それでも、ほとんどわからんと思うよ。聞いているあなた方から見たらよ。それまで、株でも大分かじっとれば、結構わかるんやけど、でも、誰も俺に感謝した人はいないもん。「この前、Tって言われたもんで、私、買いました、儲けました」誰も言わんがやから。せいぜい、何となくうまくいったという話は1回聞いた。これが1回だけや。

メンバー：

いつも感謝していますよ。家では、孔明さんと、サッチェルさんと、会長にはいつも感謝しています。

北野会長：

感謝。だから、今、言ったように感謝するっていうことは、逆に言うたらわかったっていうこと。後の人は何で、感謝っていう言葉が出ないかって言うたら、はっきりわかっていないの。俺から言うたら、弾を掴んでいないから、わからないの。ありがたみが。これ、孔明も880億、稼いだとしたら、俺に言うよ、絶対に「ありがとう」って。それが880万程度だからと思っとる。

真田 孔明：

いやいや。サイトにも書いてます！会長のお蔭と！

メンバー：

隣に銅像が建っていない！ 笑

北野会長：

あれはだから書くだけやから。笑 あれ、本当に儲かったら、ジョホールバルにおらんよ。

メンバー：

いつも口癖が「もう少し儲かったら。今度こそは」とか。笑

北野会長：

ここら辺の逃げはまた、逃げの手口は孔明さんに習ってください。やっぱり、確かにすごい物書きや。言葉を巧みに使うよね。操り方がうまい、天才的なことがあるなと思う。俺がこれだけ好きなことを言っとっても、それを上手に並べられるタイプなんや。

メンバー：

本当にすごいです。

北野会長：

俺をも崩さず上手に書くやろ？俺を崩すと自分が崩れるから。だから、ここら辺がすごい上手やなと。俺は、何か孔明のスピーカーみたいなものやから、声は出るしさ。体は丈夫やしさ。そう思って見てくれ。俺はだから、今、香港に君臨して、香港の1番とならんでも、まず、恐怖心をなくしてさ、絶対に来るから。あこは絶対に来る可能性があるがやから、今度、練習にバサッと切ってみてください直角に。

真田 孔明：

今、最近チビチビと日本の株は暴落しても、下がりがそんなに大暴落は来ないんじゃないかと思うのですよね。何回も大暴落を経験しているので。だから、今は皆さんに見せましたけれど、香港で上海の暴落で上がる株をチビチビとワラントで買って練習しているのですよね。下がる時の勢いが上海とかはドンと来るかなと思うのですよね。

北野会長：

俺は上海のときにみんなに言うたやろ？こんないい市場はないんやて。あれだけ言うたにも係らず、全然、反応がないからね。いい株っていうのは、上がっているから、俺がこんなに言うてるわけやから。上がるとる山の頂上に行ったら、あとは決まっとるんやよ。天高くてそれは上がる人もおっけど、ほとんど次は下るに決まっとるんやから。だから、パッとすくえるわけよ・・・パッと。パッとすくうがやから。だから、あれだけ上がっていったから、これは必ず暴落がある、もう一つおもしろい話、参考に。ジョホールバルも山ほど建った・・・マンションが。

これも絶対に落ちる、絶対に落ちる。そういうところに勝負をかけたらいいい。そういうところに。部屋数を集める。そんなもん。今ね、日本で借りたら、うちはコンマ6ぐらいで、0.6%で借りるけど、5か6や。うちの会社にしたらね。僕の場合は、貸してもらったんやから、返すのは余り好きでない。後はほ、電車道やから、気違いちゃ電車道、電車道を覚えといて。電車道もこうやって、これを延ばしたら駄目ら、覚えとかれ。電車道でも、これをこうやって曲線上に円にするがやて。円にするとただ回っとるだけ。金っていうのは地球を回っとってる。これを真っすぐにすると、どこかで行き当たる。これをこういうふうに戻せばいい、わかった？角度をつけて。返すでもなく、返えさんでもなく。あのね、返さんでもね、あんたにね、日本刀を持って返せいう銀行員は一人もおらん。後は、返しますと、ますとですよ。マスオさんになれば大丈夫。これを10年やんちゃすると、銀行がお願いに来るんやから。「ぜひ、借りてください」よく考えてみたら、俺は40年間、利息を返し続けた男やから。44年の実績がある。ことし1年増えてね。これっていうのはすごい事。だから、資金計画表なんて全然関係ない。俺はだから、「お前が書いておけよ。お前が作文を書けって、何で俺が作文をお前に言わんならん。それができんやつはうちの会社に来る才覚がねえやから来るな、お前のところ、金はすぐにでも」言うがやから、いつも。啖呵は切るが。小切手も切るが。切ったほうの勝ちよ。居合切りと一緒に、切った者の勝ち。それを逆手に取れば勝つの。手を取られるか取るかだけや。そういうこともこれから徐々に・・

真田 孔明：

1年目からそれをやったらね、銀行に。笑

北野会長：

俺は、ハワイのときに、あのとき弱ってね。どうして説明したらいいかなと思って。だから、コップを並べて、順繰りに返していくんだよという表現しかできなかったよ。「お前ら、返すな」とも言いにくいやろ？でも、これに耐える神経ができると、ほとんど余り関係ない。お前はサギとか何とかで頭を使っている、金を取ろうとする。関係ない、借りて金を返さなきゃ一緒なんやから。元本を持っとれば自分のものやから、あれ。あれね、利息だけチビチビと払うよ。そこが利息もどんどん下がってくるわね。俺が言うやがて「うちの会社、何とか利息は返せるから、でも、お前、利息ももう少し安せい」っていうがやてね。元本を返さないからね、相手は思うわけよ。利息が高いと返せないのでもないかと思って、どんどん元本を安くしてくる。うちの決算書がまた言うがやて。言うたびによくなっとる。そしたら相手も貸しやすくなって「また、1億ぐらいいかがですか？」みたいなこと言うから、1億でも2億でもいいわい。お前の甲斐性だけ持って来いって言う。これがね、すごい嬉しいわね。俺はだから、この前、言ったよ、皆さんに。借りた俺は借金やて。貸した銀行は売上やぞ。

真田 孔明：

Win-Winで。

北野会長：

そうやる？Win-Winの関係やる。俺は、金が余っとるから、ジェントルマンやから利息はパンと払うよと。最近ほとんど銀行に言うの「先払いや」と。後でくれ言われて払えなかったら、みっともないから、みっともない。だから、60万円、スナック月に1回、行ったら5万円ぐらいかかるんやから。そう思えば先払いでパンと60万の小切手切っておかれ。楽やから。それで、銭1億タダ、タダ遣いやから。後は投資信託でも入れてさ・・・そうやる？俺は、この間言った44%で1億、弾を入れておいてや。やっぱり60%を超えておるやる？今の利回り。こんなにね、俺は簡単に説明しとっても、皆さんには届かぬ、届かんがやて。届かんほど俺から見たら、みんな俺よりもただ、大したことないなと思っとる。なぜかと言うと、歳が若いから。1日の長やから、1日でも長生きをしとるんやから。これが俺の特典さ。でも、俺は一つプラスになったことは、皆さんが歳が若くて、エネルギーがあるということがすごい俺にとってはすごい、すごい、本当に。そこが一番いい。ついこの間まで、死ぬ人ばかり相手にしとったんやから、本当に。いつ死ぬかいつ死ぬかって 笑

真田 孔明：

最近、癌が・・・とか。

北野会長：

本当。最近、皆さん、顔を見たら、みんな生きとっから。俺も若くなったような気が・・・それだけがいい。後は、皆さんの頭の悪さを、いつか治らんかなと思うだけの話で、でも、同じ立場に立ったら、俺もできなかったなと思うことが全てやから、当たり前じゃないかなと。俺も昔、絵を描いたことがある。いろいろな絵を描いたことがある。キャンパスに。いろいろな絵を描いたことがある。成功した例もあった。でも、それを続けていくと自分の身が狭くなる。肩身が狭くなるから、もういい加減に止めようっていうのはそういうことを言っとる。実践で何ぼでも金なんていうものは考えればね・・・ある。だから、金を掴んだら、そのときにやはり考えるべき。これが継続するのか？っていうことを考えて、金を掴めば会社なんていうのは、30万も出せばすぐにポコン、ポコンといっぱいできるんだから。そこで、借入を起こして、ゆっくり回すとかさ。一番いいのは返済財源があって、彼の言う電力からの返済財源があって、借金の返済ができるか、日掛け、月掛け、心がけっていうのはこういうことや。それができれば一番いいわけや。後は、作文はいかようにも書ける。5,000万の売上も5億円の売上も何ぼでも作文では書けるんやから。どこかの決算書のはすっぱを書けば何ぼでもいけるがやて。だから、そういうことを思いながら経済を生きていけば、潰れることはない。一番悪いのは、潰れること。2番目は辛くて自殺すること。それだけわかってとれば、死ぬことはないから。毎日、僕はほ、酒ばかり飲んでる。いくら飲んでもやっぱり9時半には起きるから大丈夫やて俺は、よく寝るがやて。昔からね、悪いやつほどよく眠るっていうのはこのこと。俺は善人やと思っとるけど、中でも睡眠がよくあることは、安楽の世界におる。人間はね、目が開いとる時間と同じ。どんな人間でも。だから、寝られるやつのほうが本当は早死にする率が高い。一緒の時間っていうのは同じやから。だから、俺はきっと長生きするんでないかなと、と思ったりする。これも間違い、気違い、勘違い、どうなるかはわからん。一応、今のところは死ぬ日は設定されとらんから、パズルみたいなもんや。そういう具合に、人生を生きとったら、結構おもしろ

いことも。そんなに焦らんでもいい。お前はもう土台を持っとるんやから。土台を持っとるから、そんなに焦る必要はない。株も一緒。元が欲しいなと思ったらさ、やっぱり何か取りに行くはね。これがハワイでも言ったけど、これが体の形を崩すの。今度、ビビると後ろに下がる。これだけがなければ、俺はもう少し、俺の今の想定はこの間買ったACはもう少し上がっていくと思う。金が余るとれば、NHIを買う。NHIが250円、ACが200円。あこで1万円のものを持っとるか、4,000円ぐらい、4,700円かな?それぐらい落ちとるんやから、あこで買えるか。あんたらちは、俺が一生懸命ね、何ぼ言うても買えんがね。買わんが・・買わんが。何でや言ったら、下がるとときにあんた、買わんが。買えないの。度胸がないから。だから、極道じゃない。こういう歌が昔あったが。極道が一番、大事にせんなんのは度胸や。やくざ者が一番大事にせんなんのは度胸がないと何もできないって、そういう歌があった。私はそういう歌と共に生きとったから、やっぱり土壇場で勝負に出るがやて。だから、金2,000万ほっといたやろ?2,000万ほっとくやったら、1,000万はNHI、1,000万はAC、弾を二つ入れておくと。損したら俺が補填はせんけども、笑 俺が補填するということになれば「儲けを半分、俺のところを持って来い」って言う。そうやろ?ギブ&テイクやからの。でも、俺は、はっきり言うけど、皆さんの甲斐性で物をやる。俺はあんたらちの銭は1円も、俺は金持ちやから、銭はいらんから。これだけは言うておく。俺はそれだけは皆さんに言いたい。だから、皆さんが俺の話を聞いて、何ぼ金を儲けても、余ったら俺の所に持って来い。余ったらやから。そんな日もあるがやて。あのね、金を掴んだら、芋づる式っていうぐらい来るがや。1発目カンって引っかけたら、バッと来るがやて。本当に金が余ってしょうのない日もあるもんやて。何回もないけども、これ1回ぐらい、金が余ったら、受け付けております。金が余ったらでいいから。笑

メンバー：

もしくは、こちらにも入れてもらってもいいです。18%つけてもいい。笑

北野会長：

だから、結局ほ、そういうことでつながったたらさ、人生、楽しいやん?だから、原案があれば、何でも持ち出して、わからんことがあったら持ち出して話をすれば、俺の知っていることはバッと答えてあげる。皆さんのように英語の単語を教えてくれとかさ、そういう難しいことを言われてもどうしようもない。金についてはわかる。これは私が勉強してきた分野だけはわかる。漢字を教えてと言われても、これは全然わからない。スペイン語もわからんし。俺が知っている分野は金っていう分野だけ。を知っている、金の分野でも、株の分野。俺は21から好きやったから、好きやったから、これだけは何か勉強したっちゃうか、感じたものがあるから皆さんに言えるんでないかなと。もし、私が言うとおりにやっとして、やってね、失敗したら私が保障してあげる。私が言うたとおりにして、失敗しても俺が責任を持ってあげる。俺が言ったシステムから外れとったらどうしようもないよ。でも、俺のシステムなら絶対に損は出ない、そうやろ。あれいくらやってもね、損は絶対にせん。資金が10倍になれば、儲けが10倍になるがやから。あれは絶対に損の出ない。だから孔明さんが880万やったら、来年、来年には8,800万は無理かもしれんけども、いつか1億ぐらい儲ける男が出てくるやと・・メンバーの中にはね。あんなもんね、居合切りを1発。辻斬りをバサッと決められたら1億なんて、もうあっちゅう間や、あっちゅう間、あっちゅう間や。1億ぐらいね、銭ね、ボタンを押せば1億ぐ

らい銭はパンと入るんやから本当に。孔明さん、この前、言ったね、若い人で40億ぐらい掴んだやつがおるんやろ？売り買いで。

真田 孔明：

C I Sとかね。

北野会長：

あんなもん簡単。俺は理屈はわかっとるよ。でも、俺のいいところは絶対に深追いせんこと。俺も孔明さんとの間、ここに来て会ったときに、東京のタワーマンションを1個、買おうかなと思って、帰り道に契約、実印を持って出て来たんや。昨日、見た？サイト。何か1億円の物件を査定してもらったら5,000万になって、タワーマンションを買った人は国税局がガサ入るいうて、出たやろ？だから、俺は昨日も言った「キャンセル」や。だから、申込書を書いてもらっとるもんで、どうたらこうたら言うから「金が欲しかったら地獄に來い。俺は地獄で待つとるから」みたいなことを言うとるわけよ。でも、相手は来るわけねえんやから。裁判っていうのはね、覚えておいて。金を持つとるやつが必ず勝つ。裁判と資本主義社会っていうのは、A Bはイコールやから、その裏におけるやくざ者はCかもしれん。でも、最後はAとCが一緒のがやから。AとCは一緒。自由主義国家とやくざ者というのは、A Cはイコールなの。最初はAとBはイコールがや。次はBとCがイコールがやて、よく見たらA B Cはイコールがやて。ということはブラック企業も全部くっついてしまっておる。経済っていうのは昔からそう。絶対にそうやから、ここだけは抜かさん。金持ちになるには、組織とつながとらんと、表でつながると危険やから、表裏でつながる。相手が大戦車を持って来たら、山口組をパシッと並べられるほど力がありゃ。「弘道館が俺の後ろだぜ」言えれば勝ち、そんなもんやて経済は。どこの経済に行ったらって同じ。だから、本当にやんちゃをしようと思ったら、後ろ盾を作っておかんと。やっぱり最低、銀行員を使って振込みの偽造でもしてさ、それぐらい計画して物をやらんと成功せん。危ない世界を生きるんならね。俺はね、やっぱり太陽の当たるところにいたい・・俺は。そんなさ、ビクビクして生きるって酷いやろ？俺は太陽の下で生きたい。そんなにね、昼にじゃ、1万円の食事を食える毎日？ひどいぞ。1万円の食事は昼には食えん。昼はやっぱりね、ラーメンか、そばかさ、サラっとしたものか、そこら辺がおいしくない？昼から1万円の料理を食って、夜食ったらひどいぞ。そういうのは余りよくないと俺は思う。だから、みんな男やから、彼女と600円のそばを食うが、1,300円のそばを食うがかのだけのもんやて。それをサラッと抜いて、お食事に行くと。そういうのも良くない？。できたらいい車に乗って、いいカジュアルな服装をして、俺が言うのはそういうところで生きてほしいなと俺は思う。金儲けも同じ。別に田畑を耕さなくても、金っていうのはいっぱいある・・考えれば。ハウスもそうだろうし、漁業もそうだろうし、いろいろな分野であるわけ。怯えとった孔明さんが、最近香港でやっとなるんやから。

真田 孔明：

チビチビですが 笑

北野会長：

食事代だけやと思って毎日ラーメン代を稼ごうとしたら簡単。頭の中に君のラーメンの代金をインプットしとかれ、そして必ず言うが「それ以上いらんがと」俺は金、余っとるから、それ以上はいらんって言うがやちゃ。そうすると金があんた好きや言うて、バツと背中にくっついて来るがやて、これが銭さ。絶対ね、銭は取りに行くもんじゃない。自分の肩について来るものが銭。だから、自分には見えんの、背中におるから。孔明さんも一心不乱に練習して、あれは練習の結果やから。あれはパズドラでしたら、880点や。金に直せば880万やったかもしれんよ。でも、パズドラやったら880点のがやから。そういうところをみんな会得しとって。金っていうのは使うときに、預金口座から1万円札に変わる。でも1万円札を持って何千万は払わないでしょ？みんな、銀行送金で終わってしまうんやから。結局、金っていうのはパソコンの中におるわけよ。皆さんにも言うておくけど、今、ビットコイン、ビットコインいう人がいるけど、次騙される人はあれに騙される。人間っていうのは必ず流行り病と流行り物に騙される。金の売買がいいとかさいうて、みんな騙されているのたくさんいたでしょ？あれと同じことが起きるわけ。経済っていうのは。俺が言っているのは、騙されるほうにもならず、騙すほうにもならず、ちょうど真ん中で生きないと駄目だよっていうことを言っているの、いつも。真ん中でやよ、中間で。ホワイトにもなる必要もないし、ブラックにもならん。間にグレーの世界がたくさんあるがやから。ホワイト10%、ブラック10%、あとの80%はグレーで生きていかれるゾーンがある。そこに身を置いておったほうがいいよ。淡水魚にもならず、海水魚にもならずっていう生き方もあるがやから。金が欲しいなと思ってもね、死ぬまで、死んでも持って行けんのが金。だから、ゲームとしては金儲けほどおもしろいゲームはない。俺が思うには、毎日見て300万ほど上がったったら、また嬉しいやて。それで昨日みたいに230万下がったら何か肩がガクッと落ちる。俺かてそうや。俺かて人間やから、やっぱりガクッと落ちる。でも、上がったったら気持ちよく食事できるやない？わかる？食事。食事に使ったお金を見たら、小ちゃい銭、特にジョホールバルに来とったらね、千何百円ほどやよ・・昼飯。嫁はんと二人でそばを食いに行ったりさ、パスタを食べに行っても安いんやて。パスタが5~600円、そばも20リンギやから、600円か？ビールさえ、飲まなきゃ安いんやて本当に。だから5~600円でここは俺はいい国でないか。今、ここも破綻したら、皆さん、若いから月賦聞くから、ここも一つ手に入れておいたほうがいい。

メンバー：

ジョホールの物件っていうのは、完成したので、今売りかけてるんですけど。

北野会長：

売りかけているの？いくらぐらい抜ける。

メンバー：

1.3倍ぐらいだったらずぐ売れるというので。最初に完成した・・

北野会長：

1.3倍・・・あれが1.3倍ぐらいやね。今、俺が住んでるとこは一番上がったときに35円の為替になったとき、あれどのくらい上がった、為替で40%上がって、物件が15%、俺が聞いたのは60%くらい上がっていますからっていうところまで聞いたね。でも、俺はどういうの？建物っていうのはハワイみたいなもので、ここは後ほど俺、上がっていくんでないかなと。どこかでドカンは1回来るけど、やっぱりね、継続は力でさ、持っとるほうがやっぱり結構、甘いことあるが。俺でも、本当はハワイを買ったときも4,000万以下で買っとるから。今1億2,000万やら3,000万で買いにしても、売ろうと思うわない。Tの株と一緒に、安く取ってしまえば下がる心配はいらんから。そういうとこなんやて。そういうとこが一番、金儲け。だって資産から言うとかみ益っていうのが大事なんやて。含んだる益、益ね。プラスが大事。金が欲しいなら、グルグル回して行って、やっぱり今、うちらモレックパインに住んだるんやけど、ここで競売物件が日本人が払えなくて競売物件がいっぱい出とるやろ？

真田 孔明：

3割引きとかで。

北野会長：

どこの経済でもそういうのはあるの。俺が狙っとるのはそうじゃなくて、マレーシア全体がドボンいうて1回行くんでないかいう暴落を狙っとるの。そのときに持っとる金を全部をさ、全部とはバカなことはせんけども、売り物が出たらバカバカバカと入れて、会社を1発作って、そこを全部入れて、賃貸収入に回す。資産は育つし、賃貸家賃も・・・賃貸家賃をもらっとる割には、毎日、ラーメンとそうめんでもすすりながらさ、高いのは買えないかもしれないけど、そういう車に乗ってウロウロと遊んどる。これがね、一番の金儲け。経済を出すほうを押さえる。後はもらうほうを増やしておく。残るに決まっとるんやから。まさしく俺が言う決算書の5から4をね。これ5から4を引けば必ずプラス1なんやから。決算書もこう書くと銀行がどれだけでもね、決算書をでたらめでもいいの。どれだけでも融資してくれるのやから。後は、永遠に返していくと。このスタンスさえ見せれば、どこの銀行もそういうバカなやつを探しとるんやから・・・本当よ。そこがやっぱり、皆さんが考えてほしいなと。

メンバー：

1,000万引っ張るときに信用保証協会が1回蹴ってきたんですよ。そしたら支店長クラスが、直接乗り込んで来て貸してくれました。

北野会長：

1,000万単位で借金しているの？

メンバー：

1,000万単位、物件で3億ぐらい。

北野会長：

3億ね。でもね、3億より、30億、30億より300億という考え方をまずほ、気持ちを広げて、手を広げてというところを持てば、金は集まりやすくなる。だから、手を広げて物を考えていかないと。彼しんどいんでない？

真田 孔明：

眠ってる。

北野会長：

眠いの？

メンバー：

寝ていないんですよ。今朝、着かれたそうで。

北野会長：

本当。

メンバー：

自分は全然。

メンバー：

私も今だけ元気なんですけど。

北野会長：

今だけ 笑 みんな一緒のところに泊まっているの。

メンバー：

は同じところに。

北野会長：

あんたはどこに泊まっているの。

メンバー：

近くのホテルに。

北野会長：

KCL？ 本当。では、眠たい人もいるがやから、今日は早く解散しましょうか？チェックして。

真田 孔明：

Tさん、大丈夫なのかな、連絡がない。

メンバー：

Tさん、同室なので、今日、3人で相部屋なので。

北野会長：

Air bnb?モレックパイン?

真田 孔明：

貸し出し方頭いいです。フィリピン人の尼さんを一人雇って、その人にAir bnbの管理をしてもらって、シーツを取り換えてもらって。一人を2、3室ぐらいに分けて貸し出している。インカムが入ってくるし。

北野会長：

本当?いいね。

真田 孔明：

何件かまとめても1人フィリピンから取って、シーツを交換したり、お客さんに鍵を渡したり。それをやっている人がいるんですよ。

北野会長：

孔明、こっちにも会社を持っているの?

真田 孔明：

ありますよ。宮本君のビザの会社を、ビザ用の会社。特に何をやっているっていうわけじゃないですけど。

北野会長：

その会社で昨日言うといった物件を買えばいいんじゃない。あれで1,000万ぐらい抜ける。

真田 孔明：

競売物件。

北野会長：

調べてくれて昨日、電話が来たんよ。メールが来た

真田 孔明：

法人で・・競売物件マレーシア法人で購入する必要があります。

北野会長：

できますと・・話があって聞きましたいうたら、購入価格が2、30万リングット、落札が安くなると。こういう会社を持っているなら、70%引き、会社持ってるなら、それKに言うて取っていけばいいんじゃないか？

真田 孔明：

融資？

北野会長：

俺、キャッシュさ。俺、その会社を持っとると、あんたの資産価値になるやろ？そうやろ？とりあえず、取られた分だけは早く取り戻そうよ。金が集まった時分にまた、彼は取りに来るよ。取りやすいって・・さっき言ったように弱いところを知っとるがやから。

真田 孔明：

あの時は独立して初めてだったので、外に投資をしたのは初めてだったんですよね。いろいろ勉強させてもらって、今も鉄壁のディフェンスで 笑

北野会長：

彼のすごいところはやっぱり1億7,000万をサラッと流せたっていう・・

真田 孔明：

もっともっと飛ばしていますよ、いろいろなので。結構ネットで当てちゃったので、いろいろ。もったいなかったな。あれを全部、居合抜きに・・投信に・・投信でドンと入れていたらな。TE。2011年、12年にはもう教わっていたな 笑 TE

北野会長：

ワイン3本、飲んで、5時間、講義したのに、バカやから1円も買っとらんがやから。

真田 孔明：

でも、僕2011年の1月に独立して、それまでは固い投資しかやっていなかったんですよ。固いやつしか。独立した後で、何か急に脇が甘くなって、時間もできるし。11年にやったやつが全部、飛んでいますね。11、12ぐらいに。

北野会長：

俺の言ったやつだけやっていないの。

真田 孔明：

会長にお会いしたときは、もう金がね、本当に金欠状態だったんだよね、もう。本当になかったんでね。

北野会長：

俺、訳の分からん3階の事務所か、2階の事務所に行って、5時間しゃべったんやぞ。ワインたった3本しか飲ませていただいてない。結構、安い投資やね。

メンバー：

どうやって知り合ったんですか。

北野会長：

知り合ったのは、本当はね、本当は嫌な話やけど、皆さんに言いたくないやけど、これは真実は言うとかんといかんから。本当は。（店員がサインをもらいに来る）「サインは。OK。シェイシェイ」ホントは会ったのは、東京のバッチのほうから、何かサイトでいらんことを書いてる人がいると。どうしたらいいですかみたいなことを言うたら、もし、君が会って、不必要な人間であれば、処理してくださいとは言わんだけど、っていう話で、ジョホールバルに来たんやけど。それで、今の担当者いたもんで、こういうの初めてで「真田孔明っていうやつおるはずやから、全員で調べてくれ」っていうたら、「僕、知っています」みたいなことになって、電話して、会ったらこういうタイプやろ。そんなね、悪人にも見えんだし、失礼やけど。

メンバー：

よかったね。マレーシアの露と消えて！

サッチェル：

危なかった。

北野会長：

これが孔明やったら、細い川に流しておけばどっかに流れて行くやろと。

メンバー：

笑

北野会長：

それが初めての出会いなの。俺は、一応、報告したんやて。俺の感じでは、そんなに経済がね、吹っ飛ぶわけでも、ただほら、彼は毎日、1,000兆の借金があるとかって書くやろ？それは嫌なわけよ、相手にしたら。それを海外に行ってこういうことをネットで書きまくるやろ？俺は、本当は頼みに来たんやて・・・殺すもできんし、そんなに殺すほどのものでもないやろ？だから、孔明さん、そのときにさ、その日に、ワイン3本飲ませてもらうて。

サッチェル：

飲んだら意外とおいしかったんですね？

北野会長：

そうそう。あれね、結構おいしかった。そういうタイプやから、俺は。嫌いだったら徹底的に勝負するタイプなんやけど。あのときはどっちでもいいって言われとったけど、君が判断してねみたいところで。でも、会ったらこうやから。本当に俺は会ったときに、自分が3本のワインを飲んだのは事実やから。彼は、賢いから録音をしとるわね。でも、俺はね、頭おかしいんでないかなと思うわん？11年、12年、13年、14年、15年。5年間もかかってやぞ。ほとんどね、5年間ぐらいかかるんでないかなと、あんたらちに話しとって。本当の俺の真実は5年間ぐらいの、1年間に800万、抜けるかもしれない。でも、880万は抜けんがやて。この80万の開きちゃ何か、やっぱ1日の長、年功序列やから。これはね、絶対に追いつくことはできんこと。俺は年寄りの嫁はんと結婚しとっから、俺はいつも言う。嫁はんに。何で俺がお前の齢を・・「だから、あんたは私よりもいつも下なのよ」ってこう言われる。あんた、私に挑戦しとるけど、永遠にあんたは私の年下のがや。65になって今もあんたは私の年下や。じゃ、お前は67になったがかいって言ったらもう少しでなりますって言われた。もうただ頭が下がる。だから、服従しとるが。盾はつかんいうこと。それだけ。皆さんもそういう具合におってください。金は知恵さえあれば、何ぼでも儲かりますから。労働の対価が銭じゃねえから。知能の対価を銭を銭に変えていくようなシステムを作る。後は、この高に三角形の円すいの高におれば、金っていうのは放射状に降ってくるんやから。この何をか知らんけど。12分割か、11分割か知らんよ。そこに落ちてくるシステムを作ればいいんやから。そんなにね、自分だけでよくしようなんてね、バカなことを思うから辛いが。みんなに共に儲ける。そういう気持ちになれば金っていうのは永遠に来る。俺なんか見て。ついこの間、ハワイであれから大分ハワイに寄って遊んどったから、10日ぐらい日本におって、またここに来て遊んどる。僕は遊ぶことが仕事なんやから。考えることが仕事。だから、遊んでおれる時間が考える時間やから。皆さんに失礼や、最初のとっ初めはほ、動くな、働くなやから。皆さんには、嫌な思いをさせたなと思う。動くな、働くな、よく考える。それがスタートでないと生き残れんが。最初からね、慌てて動くと大体ドボンのがやちゃ、本当に。俺もね、友だちもたくさんいて、でも、ほとんど会社がドボンか、自殺したか、今、行方しれずみたいな人ばかり。でも、あんたらちと会ってよかった。なんとなくエネルギーと若さがあるから、最近は何か歳が40ぐらいになったかなと思って。と思っても、二回り以上、上や。そしたら、人生は短い、ライフ・イズ・ザ・ショート。人生は短いんやから。俺の場合は、酒が飲めるから、酒の力で120歳まで生きてやろうかと思ったりしとるんけど。俺が知っとることは教えたるよ。何でも。俺はそんなに欲じゃないから。知っていることは教えたる。それを聞く耳ができれば一番いいんやけど、なかなか耳っていうのは、耳から入って脳に一回りするっていうのは難しい。だから、投資のこともわからんで聞かれ。わからんで聞かれ。わからんってはっきり言う。物ははっきり言う。あんたケツ取れるか。そこまで言われても、俺も嫌だけど、それぐらい。今、俺が言ったシステムでやっていて、もし、損した人がおったらケツを俺が見たる。ほんで損する人がいたらね。絶対に損しないから。それと、さっき言ったように今度、ユーロがまた増発、印刷したらもっとお前ね、おちょこよりもこれぐらいをこんな感じでわかる。チビチビチビとこんな感じをこれが一番じゃ。これ回数ね、永遠にできるから。わかる。24時間で1回でしか、バケツよりも、こっちのほうが貯まりやすいんやから、やってみら。自分で。結構ね、これ全部、移し替えるのにそんなに時間

かからんって、チビチビやると。抵抗は起きんやろ？話をしながらやっとなんでもできる。これが良さ。そこをね、少しこぼしても。

サッチェル：

バケツだと一生懸命やらないといけないですもんね。

北野会長：

だから、自分の立て位置を真っすぐにして、常に身軽に、前にのめり込むことなく、後ろに倒れることなくってというのは、そういうことを言っとるわけ。皆さんが会得するには5年ぐらいかかると思うんやけど、なかなかね、言うたことを会得はできんが。耳ではわかっとる。それが自分のものになるまでに、やっぱ4、5年かかる。お前ら、俺に1人3本ずつワインを飲ませてくれりゃ、すぐに教えてやっから。笑　これが条件やから。解散すっか。おあいそ終わったよね。カードもらった？

真田 孔明：

サインしました。

北野会長：

本当、入っとる大丈夫。なら明日。明日は焼肉屋さん。